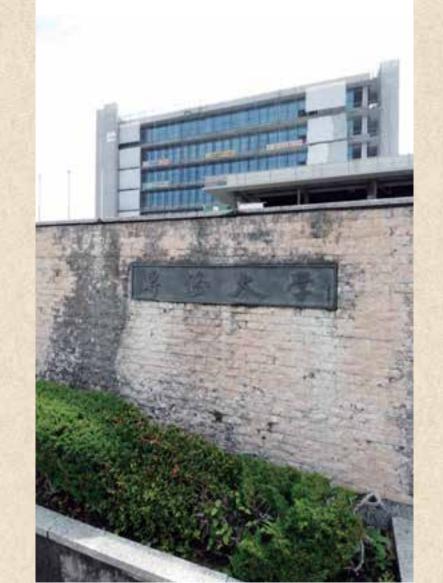
創部50周年記念号

**事修大学** 体育会少林寺拳法部



# 緑拳

創部50周年記念号



SHORINJI KEMPO CLUB 50th ANNIVERSARY

専修大学体育会少林寺拳法部 専修大学体育会少林寺拳法部OB緑拳会



# C O N T E N T S

# 緑拳

創部50周年記念号

ご挨拶・祝辞	3
各代紹介	18
現役紹介	39
支部長寄稿	44
OB·OG寄稿	52
思い出の写真	60
追悼 難波良文前監督	64
専大少林寺の創設期	66
専修大学の歴史と沿革	74
広告	76



実行委員長

専修大学体育会少林

# 樋







本日、ここに専修大学体育会少林寺拳法部は創部50周年記念式典をめでたく開催する運びとなりました。

昭和41年(1966年)の創部から半世紀に渡り、今日まで我が少林寺拳法部が活動してこられたのも、ひとえに日高 義博理事長をはじめとする専修大学関係の皆さま、ならび宗 由貴総裁をはじめとする少林寺拳法グループの皆さま、各界諸先生、他行OB、学内OB、現役諸氏の多大なるご支援とご尽力の賜物であると深く感謝申し上げます。

専修大学は本年で創立137年を迎え、43部2同好会から成る専修大学体育会も、 創立から83年の歳月を積み重ね今日に至っております。この伝統ある専修大学体 育会の中で、37番目に誕生した少林寺拳法部も50年の時を経て、ようやく大人 の仲間入りができたような気がいたします。

生田キャンパスにある専修大学創立100年記念碑に刻まれた「専修大学の建学の精神は社会に対する報恩奉仕であり、質実剛健・誠実力行は学風である」というメッセージは、少林寺拳法の教えである「社会に役立つ真のリーダーを目指す人づくり」と相通ずるものがあります。

また、流派のない少林寺拳法はとりわけ他大学との交流が盛んで、卒業後もOB現役合同練習会・懇親会や定期総会などのイベントを通じて多くの仲間との接点が多数あり、この結束力の強さが少林寺拳法の大きな特長ともいえます。本式典にも関東学生少林寺拳法連盟から24校100名近くものOB・現役の皆さまに駆け付けていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

2016年の今年の夏、平和の祭典である「リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック」が開催され、アスリートたちの極限の姿に感動する一方、シリア内戦や南シナ海問題、そして北朝鮮による核実験や弾道ミサイル発射など、世界中で深刻な問題が次々と発生しています。

そんな今こそ、開祖の「人、人、人、すべては人の質にある」を思い起こし、 開祖の目標とした慈悲心と勇気と正義感の強い人を育成し平和な世界の実現に向 け、我が専修大学体育会少林寺拳法部も微力ながら尽力していく所存です。

最後に本記念式典を開催するにあたり、星野OB緑拳会会長をはじめとするOB緑拳会の皆さま、50周年記念式典実行委員の皆さま、そして現役諸氏のご協力に深く感謝いたします。

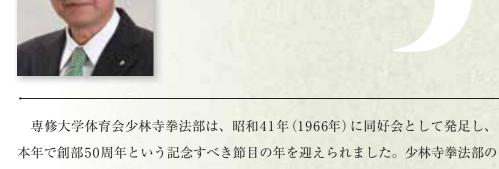
今後も専修大学体育会少林寺拳法部、OB緑拳会が益々発展するよう祈願するとともに、皆さまのご発展を心よりお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



法 理事 長 大学

# 日高義

祝辞 Yoshihiro Hidaka



少林寺拳法は、宗道臣先生によって創設された日本独自の武道であり、人としての行いや礼節を重視した人づくりの道をめざしていると聞いております。学生諸君が、少林寺拳法の鍛錬を通して、人間性豊かな魅力溢れる人間に成長することを期待しています。

創部50周年を心からお祝いを申し上げますと共に、これまで貴部の発展にご尽力

された監督をはじめ、関係各位に対して、心から感謝の意を表します。

学生諸君にとって、稽古三昧の学生時代は懐かしい想い出になることは言うまでもありませんが、日々の修業により、様々な障害を乗り越えて目的を実現する意志力と体力が備わっていきます。心身の統一と調和を図る術を体得できることは、実に素晴らしいことです。武道の道を歩き始めたら、どこまで稽古を続けられるのかが勝負だと思います。

最近では、倫理観が迷走しているとしか思えない出来事が頻繁に起きています。 その原因としては、家庭教育における親の自信喪失、学校教育での価値観の揺ら ぎ、道徳教育の負の連鎖など、様々な要因が考えられます。このような状況にあっ ては、武道を通じて形成される道徳体系が有用ではないかと思います。稽古を通 じて身につく、礼節、信義、誠実などの価値意識は、人間形成だけでなく社会の 仕組みの上でも重要です。

これからも、素晴らしい武道を伝授する専修大学体育会少林寺拳法部として、益々発展されることを祈念します。



# 学長 **佐** 夕

# 少林寺拳法部創部 50周年を祝って

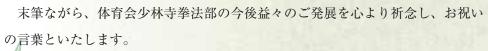
Shigeto Sasaki

体育会少林寺拳法部が創部50周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。50年もの歴史を刻む中には、諸先達の少林寺拳法競技及び大学スポーツに対する情熱と真摯な取り組みがあり、それらを脈々と受け継いでこられた多くの関係者のご尽力があったものと拝察いたします。あらためて敬意を表するとともに、深く感謝いたします。

少林寺拳法は、昭和22 (1947) 年、宗道臣氏が創始した護身を旨とする拳法で、 拳の修行を行う武道としての側面と、精神修養と人格形成を行う社会教育活動の 側面を持っている点に特徴があります。また、技の体系は、宗氏が中国大陸在留 中に会得した各種の拳技をベースに独自に創意工夫を加えて再編成されたもので あり、社会教育活動としても、その拳技の修行を通して青少年をはじめとした個々 人の精神的成長を支援するものと伺っております。

専大少林寺拳法部においては、競技面では関東学生大会での上位進出を第一の 目標とおりますが、日常の作法、礼法を最も重視し、人間形成の一助としての少 林寺拳法を実践されております。

本学においては、スポーツを「大学教育の一環であり、教育活動との一貫性をもつカレッジスポーツ」として位置づけております。これは、競技成績ももちろん大切ではありますが、日々の練習や試合を通じ豊かな人間性を形成していくことがもっとも重要であるという考え方に立脚しており、本学が掲げる21世紀ビジョン「社会知性の開発」にも根底で通じるものであります。文武両道を実践する貴部の活動を通じ、複雑化する現代社会の諸課題を地球的視野から捉え解決する力、創造的発想力、さらには深い人間理解や倫理観を持つ有為な人材が今後も絶えることなく輩出されていくことを期待しております。





総裁 宗



祝辞 Yuuki So

# 由申

専修大学体育会少林寺拳法部創部50周年記念式典が盛大に開催されますことを心 よりお慶び申し上げます

1966年に水野好夫拳士を中心に創部されて以来、50年の長きに亘って、連綿と活動を続けてこられた現役拳士、OBOG拳士の方々に敬意を表しますとともに、これまで活動を支えてくださいました関係各位の皆様、そしてご支援ご協力いただきました皆様方に厚くお礼申し上げます。

SHORINJI KEMPO (少林寺拳法) は、1947年日本において創始者宗道臣 (開祖) が、「平和で豊かな社会を築くために、社会で役に立つ人間を育てたい」という志を持ち、創り出した人づくりのシステムであり、独自的固有の文化をもった流派が無い世界で一つのものです。そして、来年2017年には少林寺拳法創始70周年を迎えます。

これまでに少林寺拳法の活動を推進するため、一般社団法人SHORINJI KEMPO UNITY、金剛禅総本山少林寺、一般財団法人少林寺拳法連盟、学校法人 禅林学園、少林寺拳法世界連合の5つの団体が組織され、現在では世界37ヶ国に広がりをみせています。

そして、日本で生まれた少林寺拳法は、創始者の志を受け継ぎながら、社会に貢献できる団体として、各法人がそれぞれの特色を生かし、地域の皆様が「生きる力」を養い、「感性」を磨くための環境づくりを目指します。

現代社会では様々な問題が顕在化しており、世界を見ればテロや紛争などに関する報道や日本国内でも超少子高齢社会に対応した社会の仕組みや環境などが不十分な結果、介護や子育てなど、人間関係に苦しんだ末の悲しいニュースが後を絶ちません。

「人がより安心して輝ける社会を作っていく為、他人のことが本気で考えられる人間を育てたい」という少林寺拳法の願いに共感されましたら、ぜひ少林寺拳法の仲間が集う場へ足を運んでみてください。そして、世代や職業を超えたつながりを通して、地域・社会へ関わり、まず自分から一歩を踏み出してみませんか。

貴部の皆様におかれましては、これからも多くの先輩方の努力によって築いてこられた50年の歴史を大切にするとともに、今後も新たな歴史を積み重ねていかれますことを期待しています。最後に、OBOG、現役拳士の皆様のご尽力に敬意を表し、これまでご支援を賜りました関係者の皆様には、今後とも同様のお力添えを頂きますようお願い申し上げお祝いの言葉と致します。

合 掌

# 

祝辞

Kazuhiro Kawashima

専修大学体育会少林寺拳法部創部50周年おめでとうございます。

1966年の発足に関わった皆様や、以来、活動を続けてこられた皆様、ならびに関係各位のご尽力に対し、敬意と感謝の意を表します。

少林寺拳法は1947年、創始者 宗 道臣(以下、開祖という)により「人づくりによる国づくり(理想境建設)」を目的に香川県において創始されました。

「国づくり」とは、人間が人間らしく生きるために、テロや紛争・戦争のない、平和で物心ともに 豊かな社会の実現に貢献することです。「人づくり」とは、自分の可能性を信じ「半ばは自己の幸せを、半ばは他人の幸せを」考えて、信念を持って行動できる、リーダーシップをもった人を一人でも多く育てることであります。従って少林寺拳法の修行は、相手に勝つことを目標にするのではなく、自分の可能性を信じ、相手の存在を認め、尊重し、協力関係の中で切磋琢磨し、真の強さ、真の優しさ、そして人間としての生き方の規範を身につけるための「人づくりの行」であります。

来年は1947年の創始から70周年を迎える年であります。70年の歴史の中で、少林寺拳法の組織はもちろんのこと、取り巻く社会も大きく変化しました。創始当時と比較して、現代は物質面では豊かになりましたが、過去とは異なった、「こころ」の問題を社会全体が抱えております。情報機器の発達により、コミュニケーションが簡便になった一方で、容易に他者のこころを傷つけてしまったり、生きる目的を見付けることができず、自らの命を絶ってしまったり、今までとは異なった問題に、我々は社会全体で立ち向かわなければなりません。このような世の中だからこそ、自己の幸せだけでなく、他人の幸せを考え行動できる人間を一人でも多く育て、物質面と精神面共に豊かな社会の建設が必要なのではないでしょうか。

開祖は「人、人、人、すべては人の質にある」と喝破されました。人の質こそが社会全体をつくり、人づくりこそが国づくりの基となります。拳士の皆様、今後とも自信と信念と誇りを持って少林寺拳法の修行に励み、自己確立に努めると共に、苦楽を共にできる仲間を増やしていこうではありませんか。

結びに、節目の50周年を契機に、さらに活動の幅を広げられ、専修大学体育会少林寺拳法部がますます発展されますことを期待申し上げますと共に、関係各位の皆さま方のますますのご健勝とご多幸を祈念申し上げ、祝辞とさせていただきます。

合 掌



# 少林寺拳法部創部 50周年を祝って

Toru Ishizaki

このたびは、専修大学体育会少林寺拳法部創部50周年とのこと、誠におめでと うございます。心よりお祝い申し上げます。貴部の歴史を拝見しますと、昭和40 年(1965年)より創部の準備に取り掛かり、昭和41年(1966年)に少林寺拳法同 好会として創部、5年後には部に昇格しました。創部に尽力され、また半世紀に わたり、脈々と部の伝統を築いてこられた先輩方の不断の努力に敬意を払うとと もに、現役学生として50周年の節目の瞬間を迎えられる喜びはいかんばかりかと 拝察いたします。

少林寺拳法には「剛法」「柔法」と呼ばれる技法があるそうですが、それ以前の 理念として、少林寺拳法はあくまでも自分の身を守る護身の術であり、部として は、競技においては関東学生大会での上位進出を第一の目標としているが、日常 の作法、礼法を最も重視し、人間形成の一助としての少林寺拳法を実践している ということに深い感銘を受けました。

創部50周年とは、創部100周年へ向けて次の1歩をまさに踏み出さんとする大きな 節目に当たるかと思います。平成25年(2013年)、専修大学体育会は創立80周年 を迎えました。私は体育会80周年記念誌の冒頭あいさつで、「競技力の強い体育 会」であるとともに「社会貢献の強い体育会」でもあるべきだと述べました。少林 寺拳法は武道であり、武道は武の修練による人間形成にその道があると思います。 少林寺拳法で鍛えた集中力、精神力をもって、社会に対する報恩奉仕を実現する 質実剛健な有為な人材を育てていただき、本学体育会少林寺拳法部の社会的存在 意義がより一層高まりますよう祈念いたし、お祝いの言葉に代えさせていただき ます。



# 専修大学校友会

祝辞 Takiji Komiya

このたび、専修大学体育会少林寺拳法部が創部50周年を迎えられましたことを 心からお慶び申し上げます。

さて、近年における50年の歩みは、社会経済が高度に発展し、地域社会が近代 化へとめざましい変貌を遂げてきた時代といえます。このような変化の激しい時 代の中で、少林寺拳法部の歴代の皆さんが、様々なご苦労を乗り越えて、半世紀 にわたり永々と築いてこられた伝統と輝かしい実績を受け継ぎながら、部活動を 運営し維持されてきたことに対し、心から敬意を表する次第であります。

大学教育の基本は、学問の探究にありますが、同時に、体育を通して心身を鍛 えることも大きな役割の一つであります。専修大学の長い歴史の中では、時代の 変遷により、体育会の活動にも様々な影響があったかと思いますが、少林寺拳法 部が今日までの50年にわたり、脈々と部活動をされてきたことは、いつの時代で あっても、学生諸君から魅力ある体育会として常に支持されてきた証左でありま

私たち専修大学校友会は、約28万人の卒業生全員が正会員であり、来年、創立 130周年を迎えます。校友の絆を一段と強め、校友が一丸となって、校友会と大 学の更なる発展に向けて邁進していく所存ですが、そのような中にあって、少林 寺拳法部の創部50周年は、校友会にとりましても大きな誇りであり、改めてお祝 い申し上げます。

最後に、専修大学体育会少林寺拳法部が創部50周年という記念すべき節目を契 機に、益々の部活動の充実と将来に向け限りない発展をされることを小から期待 いたしますとともに、部員、監督者、役員、OBの皆さんのご健勝、ご多幸、ご 活躍を祈念いたしまして祝辞といたします。



## 創部50周年によせて

Takashi Izumo

専修大学体育会少林寺拳法部が創部50周年を迎えられましたことを、心からお 祝い申し上げます。

昭和41年に同好会として創立され、その後50年もの長きにわたり、部を発展させ伝統を築きあげてこられたご苦労は並大抵のものではなかったと拝察致しますとともに、ご努力に心から敬意を表します。

少林寺拳法は宗道臣が、敗戦後の荒廃した日本の状況をまのあたりにし、気骨のある若者を育てる教育の場を創造すべく、1947年に香川県多度津町で創始されたとお聞きしています。

専修大学は、「青年を教育・指導することによって社会に"報恩奉仕"された、 その精神が本学の建学の精神であり、"質実剛健・誠実力行"が学風」でありますが、 まさにその学風にも共通した動機であると思います。

少林寺拳法には試合はなく、形(かた)や技を見せる演武会、昇段試験を目指して、練習に励んでおられると伺っておりますが、試合というダイレクトに結果が出せる場を持たずして、モチベーションを保つことは大変な努力を必要とされるかと思われます。

また、様々な武術を応用されたことによる技や拳法としての完成度の高さのみならず、「護身錬鍛」「精神修養」「健康増進」の三徳を兼ね備える「身心一如」の修行法は、武道としての側面と、精神修養と人格形成を行う社会教育活動の側面を有していることから、部活動をとおしての厳しい鍛錬と人間成長は、専修大学の理念である「社会知性を以て、社会に貢献できる人材を育成、排出する」ことにも、大きく貢献されてこられたものと存じます。

最後に、これまで尽力されてこられた関係者の方々に改めて敬意の意を表しますとともに、体育会少林寺拳法部の、今後益々のご発展を祈念致しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

会長 大 学 法関東学生OB同友

[東京大学OB]

祝辞

Shinichi Kimura

専修大学体育会少林寺拳法部創部50周年誠におめでとうございます。

貴部の創部にご尽力された先輩方、そして50年間この良き日に至るまで貴部の素晴らしい伝統を受け継いで来られた歴代の現役拳士、OBの皆様に心から敬意を表するものであります。

私は、貴部創設者であり長年に亘って監督として貴部発展のために力を注いでこられた水野好夫君と大学卒業が同期であり、大変親しくさせていただいております。他に私共の同期としては、千葉工業大学後藤和雄君、東京芸術大学藤江道昌君、惜しくも故人となられた明治大学前嶋弘一君及び日本大学浅野紀元君等々多彩な顔ぶれが揃っていました。昭和57年、明治大学山川重治先輩を初代会長として関東学生OB会連合会が設立されて以来、このメンメンは山川会長をはじめ同連合会の役員であり関東学生連盟を創設された大先輩方の使い走りをしてまいりましたが、中でも「好夫君」、「好夫君」と大先輩方に可愛がられていた水野君の気配りに、尊敬の念をもっておりました。連合会役員が私共の代に引き継がれた後、私は第1回現役OB懇親会において何と私の段位の倍以上の水野七段と演武を披露したことは一生の思い出となりました。

貴部からはOB緑拳会会長の星野衛さん、鴇田斉さん等々多彩な方々がOB緑拳会の主要メンバーとして活躍いただいております。分けても、惜しくも若くして亡くなられた難波良文さんも私にとって忘れられない存在です。その野武士のような静かな趣きの中に凄みのあるカッコ良さは、気遣いの水野、場を盛り上げる名人である星野と相俟って、正に専修大学少林寺拳法部の渋い中に一本ピリッとスジの通っている部風の土台となるものでした。

嬉しさの余り、とりとめもないご挨拶となり、恐縮ですが、このような多彩な 人材、良き部風に恵まれた貴部の更なるご発展を心から祈念申し上げて結びとい たします。

専修大学少林寺拳法部創部50周年、誠に、誠におめでとうございます。



会長

[上智大学OB]

祝辞 Yukio Iizuka

専修大学体育会少林寺拳法部50周年、誠におめでとうございます。ひと口に50 年とは申しますが、筆舌に尽くしがたいご苦労があったことと拝察いたします。 これまでの日々を弛まず歩んでこられた関係各位のご尽力に対し心より敬意を表 する次第です。

さて、当連合会は関東学生連盟に所属する大学少林寺拳法部OB会の融和相互、 関東学生連盟の援助、少林寺拳法の一層の普及と発展に資することを目的として 1982年6月に結成されました。その結成メンバーの一人が貴部創始者の水野好夫 先輩であります。

水野先輩には長期に亘り連合会副会長をお務め頂き、6月の定期総会、11月の OB現役懇親会等、連合会の主要行事の骨格を創って頂きました。その後、副会 長は故難波良文先輩、樋口薫さんへと引き継がれ現在に至っております。加えて 星野衛OB会長、鴇田斎さん、石川良昭さん、河原井敦監督、錚々たる貴部OBの 皆様から多大なるご協力ご尽力を頂いておりますこと、この場をお借りして厚く 御礼申し上げます。誌面の関係上、ここにお名前を記せなかった方々を含め貴部 各位におかれましては、どうぞ今後も変わることなく連合会にご厚誼ご協力下さ いますようお願い申し上げます。

今般、本文の起稿に際し2002年10月発行「連合会結成20周年記念誌 | を紐解 き貴部の紹介頁を拝見したところ、「日が暮れるのも忘れる生田の山での汗と涙 の猛稽古|「栄枯盛衰の変遷にも我が専大少林寺は行き続ける|「時はどう移ろう とも、そこに生きた者たちの中に『我がこころの少林寺』は生き続けている」「本 学少林寺のあり方の根底を見直すばかりでなく、自分の人生をも願みて新鮮な気 持ちで歩みだす……それは長らく愛着をもって身に着けてきた腕時計の狂いを直 し、あらたな時を刻み始める音に喜びを感じるようなものである」「刻々と時を刻 み続けながら、一時として同じではなく留まることをしないもの | 等々の記述が あり、思わず胸が熱くなるのを覚えました。

どうか貴部が今後も充実した日々の精進を積み重ね、次なる60周年、そして 100周年へと益々発展されますよう心よりお祈り申し上げ、お祝いのご挨拶に代 させて頂きます。

合掌

# 文学部教授部 長 専修大学体育会少林寺拳法部



Akira Matsubara

専修大学体育会少林寺拳法部は、本年をもって恙なく創部50周年を迎えること ができました。これも専修大学学長佐々木重人先生、理事長日高義博先生、体育 部長石崎徹先生をはじめとする大学の関係者各位、また専修大学少林寺拳法部の OB・OGの各位、少林寺および少林寺拳法連盟の関係者各位、また日頃より親交 を結ぶ他大学の少林寺拳法部の関係者各位の温かいご支援とご鞭撻の賜物と存じ ます。まずはこの場を借りまして、衷心より深甚なる感謝の思いを申し述べなけ ればなりません。誠に有り難うございました。

私たち少林寺拳法部は、50年、半世紀の伝統を築いて参りました。しかし私た ちの部は、この長い歴史の中でいつも平坦な道ばかりを歩んできたわけではあり ません。創部当初は、部員の余りの多さに頭を悩ますほどの熱気に満ちていた時 期もありましたが、それから数十年、安易さを求める時代の風潮は、心身の鍛錬 を真摯に求めるわが少林寺拳法部にとって必ずしも順風とばかりはなりませんで した。しかしその間にあっても、熱意ある部員によって創部の精神は伝統として 引き継がれ、毎年のように高い志を持った新入部員を迎えることができました。 そして近年は、権威ある大会において優等の成績を収める部員が続いて現れるほ どにもなりました。わが少林寺拳法部はこのように幸運に恵まれて創部50周年を 迎えることができましたが、これも歴代の部員たちが日頃より積み上げた精進の 成果に他なりません。私は部長として、部員諸君のたゆまぬ努力を讃えたいと思

私は平成10年、当時たまたま文学部選出の体育部委員だったことを縁に、少林 寺拳法部の部長を拝命いたしました。私自身は少林寺拳法の門外漢に過ぎず、こ の大役を全うできるかどうか不安でした。しかし今なお門外漢であるこの私が、 気が付けば20年近く部長職を続けることができたのは、ひとえに少林寺拳法部が すがすがしい空気に満たされているためでした。少林寺拳法部の部長となったこ とは、私の人生における大きな幸運となりました。

たのような専修大学体育会少林寺拳法部の幸運も、部長となった私自身の幸運 ひるがえって思えば、私たちを取り囲む関係者各位の温かいご支援のたまも のに他なりません。ここに思い至って各位への感謝の念を改めて新たに致します。 創部五十周年を迎えて、専修大学体育会少林寺拳法部が、爾後いよいよ発展す ることを願わずにおれません。関係の各位におかれましては、旧に倍するご支援 と賜りたく、ここに改めてお願い申し上げる次第です。

# ご挨拶

Mamoru Hoshino

専修大学体育会少林寺拳法部創部50周年記念式典を開催するに当たり、理事長先生をはじめとする学校法人専修大学役員先生、体育会本部先生、及び体育会各部OB会長・

監督。卒業生28万人を誇る専修大学校友会名誉会長、会長、副会長、部長・副部長の皆様。少林寺拳法グループ宗 由貴総裁。少林寺拳法関東学生OB同友会の大先輩、関東学生OB会連合会の各大学の幹部の皆様。我が専修大学体育会少林寺拳法部を長年、ご指導頂きありがとうございます。

専修大学文学部教授、松原朗部長先生と全国のOB緑拳会の皆様には、多大なるご 支援とご尽力を賜り、心より感謝、御礼を申し上げます。

さて、我が専修大学体育会少林寺拳法部は、水野相談役が学生時代の昭和41年5月に創部され、同好会として産声をあげました。ただ、長い歴史と伝統を誇る専修大学での「体育会 | 昇格は我々の悲願でした。

幸いに大学当局から少林寺拳法による創部精神と活動実績が理解され、創部5年目(自分たち3代が幹部の時)という異例の早さで体育会に昇格し、卒業時には後輩に新しい歴史を残すことができました。現在OBOGは200名以上となり、全国で活躍しております。

この50年は専修大学の建学の精神「社会に対する報恩奉仕であり、質実剛健、誠実力行は学風である」を胸に、少林寺拳法道に燃えた200人あまりの猛者共の歴史でもあります。

思い起こせば伯父(故田村倉蔵)の勧めにより専大少林寺拳法部に入部、練習の厳しさはもちろんのこと、あいさつの指導から教わり、上下関係もまさに厳格そのものでした。反面、先輩から後輩への面倒見の良さも専大少林寺拳法部の歴史です。「半ばは自己の幸せを 半ばは他人の幸せを」という少林寺拳法創始者、開祖「宗 道臣」の教えが専大少林寺拳法部にも受け継がれ、私たちの中で育ったのだと考えます。

私が今でも感謝していることは、母校専修大学に入学し、少林寺拳法と出会えたことです。厳しい練習と修行でしたが、特にしつけでは「あいさつ」と「忍耐力」、そして「最後までやり遂げることの大切さ」を教えて頂きました。今でも大切にしている教えです。そして、専修大学体育会少林寺拳法部OB緑拳会、少林寺拳法関東学生OB同友会、少林寺拳法関東学生OB同友会、少林寺拳法関東学生OB会連合会、また専修大学校友会においては全国206支部(地域支部、職域支部等)等、数多い先輩を含む仲間たちと一期一会の縁を積み重ね、広げていく喜びを感じております。

現役諸君も、この素晴らしい少林寺拳法部を通じて精神、肉体ともに修行し、自己確立を目指して頑張っていただきたいと思います。

この栄えある50周年を機に、我が専修大学体育会少林寺拳法部もOBOG現役が一丸 なって、輝かしい伝統と志を次代に継承していく所存です。

今後とも一層のご指導ご鞭撻をお願いするとともに、関係各位のご協力に感謝し、 あいさつの言葉とさせていただきます。

# 監督 河原 原

ご挨拶 Atsushi Kawarai

上求菩提・下化衆生(大乗仏教の教えより) 合掌

本日ここに、専修大学体育会少林寺拳法部が創部50周年を迎えましたことに、 創成期から今日に至るまで一方ならぬご厚情を賜りました皆々様へ心より感謝申 し上げると共に、この喜びをOB・OGそして学生部員たちと分かち合いたいと思 います。

私が監督として部員の指導に携わり10年足らず、就任時には既に40歳を越えておりました。生涯修行として少林寺拳法に取り組み、日々技の研鑽を積んでいるという自負はあるものの、パワーとスピードは学生に遥かに劣る年代となり、また我が子と変わらない年頃の若者達に、私の技術や考え方が受け入れられるのか不安の船出であったことを思い出します。

その時に「上求菩提・下化衆生」の教えに出会いました。これは大乗仏教の教えで、自分自身は更なる高みを目指して努力精進を続けながらも、後に続く者には自分の持てるすべてを授けて育成をしていく、というような意味になるかと思います。釈尊の教えを根本とする金剛禅の教義にも通じるものと考えます。

自分の技術や指導力がすぐに向上するわけでないのなら、いま持ち得るものを 最大限に生かし、自然体で部員に接していけば良い。こう思えた時に肩の力が抜 け、以来この教えを胸に刻んで指導に当たっております。

指導においては少林寺拳法の技術修練だけを目的とせず、部活動の運営を通じて社会に出てからの糧としてもらいたく、練習内容を含めた組織運営は部員の自主自営を基本とし、最小限の指導を心掛けています。

その年々の部員による創意工夫が、大会の成績にも結びつき始めており、それだけが少林寺拳法の目的ではありませんが、目に見える結果を追うことも大切と考え、その過程の中で人としての成長を図ることが指導者としての目標です。

今般創部50周年を迎え、創部以来脈々と受け継がれてきた伝統を今後も継承していくと共に、50年を節目として新たなる歴史創世の第一歩を踏み出し、部員たちの足跡を未来永劫に渡り刻んでいく一助を担う所存です。

式典に際し、ご祝賀を賜りました皆様、誠にありがとうございました。今後と もご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

結手

15

# 敦



# 好夫

# 専修大学体育会少林寺巻

## 創部50周年によせて

Yoshio Mizuno

本日ここに、専修大学体育会少林寺拳法部創立50周年記念式典を迎えるにあたり、専修大学理事長、大学関係の諸先生、少林寺拳法グループ 宗 由貴総裁。各大学少林寺拳法部OB諸先輩の皆様のご出席を頂き、心より感謝申し上げます。この50年間それぞれの時代を通じて御指導、ご支援、ご協力頂きました事、心より厚く御礼申し上げます。

我が専修大学少林寺拳法部誕生50周年を語る時、決して忘れてはならない大切な事があります。創立までの一年間、明治大学少林寺拳法部にて山川先輩の許可を得て、修行させて頂いた事です。この間の修行は言葉では言い表せない程「楽しい?」厳しい毎日でした。この一年間で少林寺拳法の素晴らしさ、魅力、人を育てる事の大切さ、仲間との人間関係の大切さ、諸先輩、他校OBの先輩との交流、その他を勉強させて頂きました。

そうして、専修大学にて設立許可を頂き同好会としてスタート致しました。

それから50年、早かったのか、やっとなのか、その間専修大学では、課外体育課中江先生、体育会本部瀬戸熊委員長(現千葉工業大学理事長)、皆様に大変お世話になり、体育会昇格も異例の早さで、中江先生、瀬戸熊先輩のお力添えにて昇格させて頂き現在に至っております。もちろん、初代部長福永忠一先生、2代部長藤野登先生、3代部長竹内整一先生、そして現部長松原先生には20年間、公私共お世話になっております。

本年日本では、4月熊本地震があり地元の皆様におかれましては大変な事だと思います。早く皆様方にはお元気になられます様心より祈っております。又8月にはリオ・オリンピックが開催され日本のメダル獲得数が過去最多との感動が伝えられました。その勝者インタビューで応援して下さった皆様、支えてくれた指導者、仲間、家族に感謝、一人の力では前に進めなかった。それを支えてくれた廻りの関係者の皆様に感謝等の言葉を聞きますと、我が専修大学建学の精神の一つ「報恩奉仕」又少林寺拳法の教えの一つ「筆ばは自己の幸せを 筆ばは他人の幸せを」という教え、道訓の教えそのものではないでしょうか。

本日この式典にご多忙中にも関わらずご出席頂きました。本学関係の皆様諸先輩、他校OBの皆様に心より感謝申し上げます。

今後共広く皆様のご指導、ご鞭撻心よりお願い申し 上げます。

そして心のふる里、専修大学少林寺拳法部を忘れずに。



大学1年時(明大修行時代) 開祖、兄と共に(本人右)

第49代主将 皮 惠

ご挨拶 Michiru Tokeiji

#### 含掌

本日ここに、専修大学体育会少林寺拳法部 創部50周年を迎え、大きな節目の年に第49代主将としてこの場に立ち会えることを大変誇りに思っております。「50年」という半世紀もの長い歴史を持つ、この少林寺拳法部を守ってこられた多くの諸先輩方、関係各所の皆様に心より感謝申し上げます。また、特に創部にご尽力いただきました初代水野先輩を初めとする先輩方にも、改めて御礼申し上げたいと思います。50年という数字は私の年齢を倍にしても到底達することのできないほど大きな物で、その歴史と伝統を受け継ぎ、また次の代へと伝えていくのが私達現役部員の使命だと思っております。

私は、小学生の頃に座間道院に入門し藤野祐彰先生のもとで少林寺拳法を始めました。その後、座間高校少林寺拳法部で小野寺智先生の指導を受け、そしてこの専修大学体育会少林寺拳法部に入部いたしました。大学少林寺拳法部というものは私がこれまで経験してきた少林寺拳法の雰囲気とはまた一味違っていて、古き良き昭和の薫り漂う世界で平成生まれの私としましては大変新鮮で、入部当時は毎日勉強の日々でありました。

現代という時代は、個人尊重という考え方が広がり過ぎているようで、勿論それは大切なことではありますが、反面、縦横のつながりが希薄になっていると感じます。しかし、この少林寺拳法によって創りだされる仲間の輪というものは、先輩後輩の縦のつながりは当然のこと、更には横のつながりとして各大学少林寺拳法部の垣根を超え、同じ志を持つ同志として切磋琢磨し高い結束力を持っています。また先輩方を見ていると卒業してもこのつながりは途切れることなく続いていて、これは他の武道やスポーツにはない少林寺拳法の魅力でもあり創部50周年を迎える当部におきましても、これまで築き上げてきた皆様との仲間の輪は大変な財産だと思っております。

このつながりを大切にし、更なる当部と少林寺拳法の発展のため部員一同精進 して参りたいと思っておりますので、皆様のご指導ご鞭撻の程よろしくお願いし ます。

結手





#### **李** 專修大学体育会少林寺拳法部



岩井 次雄 長岡 一夫 河又 利夫 永山 満生 黒 健治 野山 正巳 黒河内 英彬 待山 信二 榊 英一 水野 好夫 塩満 久雄 宮内 研一 志賀 繁憲 横川 政雄 吉川 和雄 角田 孝次 鶴川 清美

2代 [昭和44年度卒業]

白石 勇 浅原 昌美 荒川 和雄 塚田 哲夫 浦部 秀一 仲西 哲男 枝村 知(逝去) 平井龍夫(逝去) 小田 幸保 古屋 安 城所 透 (逝去) 増木 公夫 木南 賢次 安澤 憲一 河野 邦平 山崎 幸輝 斉藤 悦夫 山田 修

■第6回関東学生大会 昭和42年6月11日[代々木体育館]

#### 成績

団体乱捕…ベスト8

■第3回全日本学生大会 昭和42年11月3日[愛知県立体育館]

#### 成績

団体乱捕…ベスト8

■第7回関東学生大会 昭和43年6月1日[日本武道館]

#### 成績

個人乱捕…③角田孝次

■第4回全日本学生大会 昭和43年11月3日[日本武道館]

成績 3位

個人乱捕…①角田孝次

■第8回関東学生大会 昭和44年5月25日[日本武道館]

#### **灰績**

団体乱捕…ベスト8

出場選手…河野邦平・城所透・佐久 間雄一郎・中山進・増木公夫

■第5回全日本学生大会

昭和44年11月10日[日本武道館]

#### 成績

団体乱捕…ベスト8

出場選手…市川三夫・城所透・佐久 間雄一郎・中山進・望月修平

10

各代紹介

50年の歩み

#### 

市川 三夫 小笠原 髙志 奥平 要三郎 亀谷 勉 川村 敏明 久保野谷 伸雄 (旧姓・広瀬) 佐久間 雄一郎 沢出 誠一 鈴木 健司 中山 進 難波 良文 (逝去) 西 志郎 忽滑谷 睦 長谷川 芳久 星野 衛 牧田 泰博 宮崎 雅昭 望月修平(逝去) 矢上 伸一郎



■第9回関東学生大会

昭和45年6月6日[自由組演武、個人乱捕の全日 本学生の出場権獲得]

出場選手…中山進・小笠原高志・佐久間雄一郎・ 市川三夫・望月修平・奥平要三郎・村井孝・ 岩崎光教・斉藤良・難波良文・牧田孝朗・藤 崎宗宏・柏倉一夫

# 4代 [昭和46年度卒業]

**停** 専修大学体育会少林寺拳法部

池岡 正勝 尾島 茂 柏倉 一夫 佐藤 安志 田村 等 藤崎 宗広 松岡 憲二 松岡 洋治 村井 孝 山本 政明



■第10回関東学生大会 昭和46年6月26日 [日本武道館]

成績

団体乱捕…ベスト8

出場選手…池岡正勝(文4)・村井孝(経4)・松岡 出場選手…池岡正勝(文4)・村井孝(経4)・松岡 憲二(営4)・山本政明(経4)・菊池紀二(営3)・高 憲二(営4)・山本政明(経4)・牧田孝朗(経3)・ 丸義比古(商2)・柏倉一夫(営2)・藤崎宗広(商2) 高丸義比古(商2)

■第7回全日本学生大会 昭和46年10月31日 [日本武道館]

成績

団体乱捕…ベスト8

# 5代 [昭和47年度卒業]

岩崎 光教 林 幸治 菊池 紀二 牧田 孝朗 斉藤 良 森川 正人 鈴木 伸明 湯田 幸栄



#### 

■第11回関東学生大会 昭和47年5月27日「日本武道館]

総合4位

個人乱捕 ②高丸義比古(商3)

団体乱捕…ベスト8

出場選手…菊池紀二(営4)・湯田幸栄(営4)・斉 藤良(営4)・岩崎光教(経4)・牧田孝朗(経4)・ 鈴木伸明(文4)・森川正人(営4)・林幸治(文4)・ 太田拓生(営3)・小山田豊年(営3)・沢井潔(営 3)・伊与木輝泰(営3)・田中正人(文3)

■第8回全日本学生大会

昭和47年11月3日[日本武道館]

団体乱捕…4位

出場選手…菊池紀二(営4)・湯田幸栄(営4)・斉 藤良(営4)・岩崎光教(経4)・鈴木伸明(文4)・ 森川正人(営4)・太田拓生(営3)・小山田豊年 (営3)・沢井潔(営3)・伊与木輝泰(営3)・田中 正人(文3)・高丸義比古(商3)

# 6代 [昭和48年度卒業]

**今** 専修大学体育会少林寺拳法部

伊与木 輝泰 太田 拓生

小山田 豊年

佐藤 正人 (旧姓・田中)

沢井 潔 高丸 義比古

■第12回関東学生大会 昭和48年6月9日[日本武道館]

成績

団体演武

\*本年から演武会という形式になり順位はなくなった。

出場選手…田中正人(文4)・川端昭(商3)・牧野 裕之(経3)・井木豊(経3)・佐伯耕四郎(商3)・ 松島隆利(経3)・熊本通夫(営2)・田近利夫(営 2)・佐藤清人(経2)・阿久根幸二(法2)・古川 龍夫(文2)

模範乱捕…優秀選手 田中正人



# 7代 [昭和49年度卒業]

#### **李** 專修大学体育会少林寺拳法部

井木 豊 川端 昭 佐伯 耕四郎 牧野 裕之 (逝去) 松島 隆利



■第13回関東学生大会 昭和48年6月1日[日本武道館]

出場選手…田近利夫(営3)·熊本通夫(営3)·佐 自由組演武 藤清人(経3)・阿久根幸二(法3)・菊池俊行(法 出場選手…川端昭(商4)・田近利夫(営3) 2)・斉藤肇(経2)・佐伯耕四郎(経4)・松島隆 利(経4)・嘉門毅(営2)・渡辺行晴(営1)

■第10回全日本学生大会 昭和49年11月3日[日本武道館]

8代 [昭和50年度卒業]

**\$\bigsp\ p**修大学体育会少林寺拳法部

阿久根 幸二 熊本 通夫 斉藤 清人 田近 利夫



■第14回関東学生大会

昭和50年10月26日[日本武道館]

出場選手…辺見和幸(商1)・斉藤誠治(法2)・小 ■第11回全日本学生大会 井土正(経2)・長谷川晋也(法2)・菊池俊行(法 昭和50年11月23日[日本武道館] 3)・斉藤肇(経3)・嘉門毅(営3)・板谷勉(経3)・ 自由組演武 高田洋(営2)・秋山敏行(経1)・早坂勝(法1)・ 出場選手…熊本通夫(営4)・田近利夫(営4)

平田昭三(経2)・足立政人(経2)・影島利一(営 2)・高橋直樹 (営2)

9代 [昭和51年度卒業]

**•** 専修大学体育会少林寺拳法部

坂谷 勉 嘉門 毅 菊池 俊行 斉藤 肇



- ●昭和51年10月24日創部10周年記念行事 専大神田校舎15階
- ■第15回関東学生大会

昭和51年10月17日[日本武道館]

出場選手… 嘉門毅 (営4)・佐藤肇 (経4)・高橋直 昭和51年11月14日 [日本武道館] 樹(営3)・高田洋(営3)・影島利一(営3)・平田 出場選手…小井土正(経3)・長谷川晋也(法3) 昭三(経3)・足立政人(経3)・小井土正(経3)・

長谷川晋也(法3)・斉藤誠(法3)・秋山敏行(経 2) · 早坂勝(法2) · 辺見和幸(商2) · 高柳和能(商 2)・山本勝(商1)・中山幸嗣(経1)

■第12回全日本学生大会

# 10代 [昭和52年度卒業]

**停** 専修大学体育会少林寺拳法部

秋山 敏行 足立 政人 影島 利一 小井土 正 斉藤 誠治 高田 洋 高橋 直樹 長谷川 晋也 早坂 勝 平田 昭三



■第16回関東学生大会

昭和52年10月16日[日本武道館]

出場選手…影島利一(営4)・高柳和能(商3)・辺 ■第13回全日本学生大会 見和幸(商3)・下地啓太(経3)・平田昭三(経4)・ 昭和52年10月30日[日本武道館] 秋山敏行(経3)・扇谷俊春(商2)・木倉昭広(経 出場選手…辺見和幸(商3)・高柳和範(商3) 2)・三上裕之(経2)・縞田博範(経2)・中山幸

嗣(経2)・山本勝(商2)・杉井保夫(法2)・鴇田 斉(法1)

下地 啓太 高柳 和能 辺見 和幸



■第17回関東学生大会

昭和53年10月12日[日本武道館]

出場選手…中山幸嗣(経3)・山本勝(商3)・扇谷 昭和53年11月19日[日本武道館] 俊春(商3)・木倉昭広(経3)・縞田博能(経3)・ 自由組演武 三上裕之(経3)・福富幸久(商2)・鴇田斉(法 出場選手…扇谷俊春(商3)・木倉昭広(経3) 2)・永嶋稔明(法2)・小松原純一(文1)・樋口

#### 薫(営1)

■第14回全日本学生大会

12代 [昭和54年度卒業]

**今** 専修大学体育会少林寺拳法部

扇谷 俊春 木倉 昭広 縞田 博範 杉井 保夫 中山 幸嗣 三上 裕之 山本 勝



■第4回拳士会大会

昭和54年5月27日[東農大体育館]

乱捕の部…③福富幸久(商3)・鴇田斉(法3)・ 山田忠志(商2)

永嶋稔明(法3)

団体演武…優秀演武

出場選手…扇谷俊春(商4)・木倉昭広(経4)・中 有段者組演武 優秀演武…福富幸久(商3)・鴇 山幸嗣(経4)・三上裕之(経4)・縞田博能(経4)・ 山本勝(商4)・樋口薫(経2)・小松原純一(文2)・

鴇田 斉 永嶋 稔明 福永 幸久



■第15回全日本学生大会 昭和55年10月19日[日本武道館] 出場選手…表欣吾(商2)・金子隆(法2)

14代 [昭和56年度卒業]

**今** 専修大学体育会少林寺拳法部

樋口 薫 山田 忠志



■第5回拳士会大会 昭和56年5月24日[東農大]

乱捕の部…②金子隆(法3)・表欣吾(商3)・黒 沢宏至(経2)

有段者組演武の部 優勝…樋口薫(営4)

表 欣吾 金子 隆



■第19回関東学生大会 昭和57年10月11日[日本武道館]

男子全部門…予選敗退 女子組演武…予選敗退(初出場)

出場選手…佐々木一彦(経3)・渡辺英樹(商3)・ 出場選手…佐々木(一)、石川、黒沢、小林 3)・小林一博(営2)・伊藤富士男(商1)・島崎 (経1)・鈴木由美子(経1) 美津留(商1)・小峰純子(経1)・佐藤佳代(文1)

■第16回全日本学生大会 昭和57年11月23日[日本武道館]

男子全部門…予選敗退 女子組演武…予選敗退(初出場)

黒沢宏至(経3)・石川良昭(経3)・佐藤直人(法 河原井敦(経1)・西出一登(経1)・近藤美佐子

16代 [昭和58年度卒業]

石川 良昭 黒沢 宏至 佐々木 一彦 佐藤 直久 (逝去) 中澤 伸之 渡辺 英樹



■第20回関東学生大会 昭和58年7月3日[日本武道館] 成績

予選敗退

小林 一博



■第21回関東学生大会 昭和59年9月15日 [駒沢オリンピックセンター]

予選敗退

■第18回全日本学生大会 昭和59年10月14日[日本武道館]

乱捕研究の部…優良賞 伊藤富士男(商3)・島 崎美津留(商3)

18代 [昭和60年度卒業]

**今** 専修大学体育会少林寺拳法部

伊藤 富士雄 河原井 敦 小林 佳代 (旧姓·佐藤) 島崎 美津留 西出 一登 望月 卓視



■第22回関東学生大会 昭和60年7月14日[日本武道館]

乱捕研究の部…敢闘賞 伊藤富士男(商4)・下 村誉(経2)

**今** 専修大学体育会少林寺拳法部

安達 卓 伊藤 初也 河上 高宏

■第23回関東学生大会 昭和61年10月19日[日本武道館]

予選敗退

■第20回全日本学生大会 昭和61年11月23日[日本武道館]

予選敗退



20代 [昭和62年度卒業]

**今** 専修大学体育会少林寺拳法部

上出 憲之 下村 誉

■第1回関東学生選抜大会 昭和62年7月5日 [B&Gセンター] 成績

予選敗退

出場選手…下村誉(経4)・斉藤尚 志(営3)・渡辺一城(商3)

■第21回全日本学生大会 昭和62年10月25日[日本武道館]

予選敗退



21代 [昭和63年度卒業]

斎藤 尚志 渡辺 一城

■第22回全日本学生大会 昭和63年11月6日[日本武道館]

予選敗退



22代 [平成元年度卒業]

**今** 専修大学体育会少林寺拳法部

曾根 孝浩 (逝去) 田口 順

■第26回関東学生大会 平成元年5月7日[日本武道館]

予選敗退

敢闘賞…小川聖之(文2)・宇賀 神功(文2)

出場選手…多熊泰史(経3)・谷口 泰輔(営3)・小川聖文(文2)・宇 賀神功(文2)

■第23回全日本学生大会 平成元年11月26日[日本武道館]

入賞 (8位まで) なし

出場選手…多熊泰史(経3)・谷口 泰輔(営3)・宇賀神功(文2)・大 都直史(文1)・竹本伸介(経1)・ 塩尻弘樹(営1)



23代 [平成2年度卒業]

田熊 泰史 谷口 泰輔

■第27回関東学生大会 平成2年5月6日[日本武道館]

予選敗退

■第24回全日本学生大会 平成2年10月21日[日本武道館]

予選敗退



# 24代 [平成3年度卒業]

**李** 專修大学体育会少林寺拳法部

宇賀神 功 菊田 洋之 小川 聖之 南郷 秀晃 柏木 洋志

■第28回関東学生大会 平成3年5月6日[日本武道館]

予選敗退

■第25回全日本学生大会 平成3年11月4日[日本武道館]

予選敗退



# 25代 [平成4年度卒業]

大都 直史 竹本 伸介 川原 良和 中野 淳一 塩尻 弘樹

■第29回関東学生大会 平成4年5月4日[日本武道館] 成績

予選敗退

■第26回全日本学生大会 平成4年11月1日[日本武道館]

予選敗退

#### **季** 專修大学体育会少林寺拳法部



# 26代 [平成5年度卒業]

鈴木 重治

横山 伸隆

■第30回関東学生大会 平成5年5月4日[日本武道館] 成績

予選敗退

■第27回全日本学生大会 平成5年10月24日[日本武道館] 成績

予選敗退

# 27代 [平成6年度卒業]

佐藤 雅秋 萩尾 剛郁 長谷川 元 (逝去) 安江 真人

■第31回関東学生大会 平成6年5月4日[日本武道館]

予選敗退

■第2回杉本杯

平成6年10月2日[法大体育館]

団体乱捕の部…1回戦敗退 ①法大 ②明大 ③早大

専大0戦4敗1分 法大 個人乱捕の部…敢闘賞 ②赤松信夫(文2) 演武の部…棄権 ①法大 ②立教 ③法大B

**李** 專修大学体育会少林寺拳法部

■第28回全日本学生大会 平成6年10月23日[日本武道館]

予選敗退

28代 [平成7年度卒業]

谷 和繁

■第32回関東学生大会 平成7年5月4日[日本武道館]

男子組演武段外の部…入賞者なし 平成7年10月29日[法大体育館] 女子単独演武の部…入賞者なし

■第29回全日本学生大会 平成7年10月14日[日本武道館]

男子組演武段外の部…入賞者なし

男子二人掛の部…入賞者なし 女子単独演武の部…入賞者なし

■第3回杉本杯

団体乱捕の部…2回戦敗退 ①早大 ②明大 ③東大 個人乱捕の部…②坂口昇司(法2)

29代 [平成8年度卒業]

赤松 伸夫 尾花 正生 中原 暁子 松宮 克樹 山本 健太郎

■第33回関東学生大会 平成8年5月4日[日本武道館]

男子組演武段外の部…入賞者なし 男子組演武段外の部…入賞者なし 女子単独演武の部…敢闘賞 中原 暁子(文4)

### **9** 専修大学体育会少林寺拳法部

■第30回全日本学生大会 平成8年10月20日[日本武道館]

女子単独演武の部…敢闘賞 中原 暁子(文4)

30代 [平成9年度卒業]

**∮** 専修大学体育会少林寺拳法部

31

秋山 政一 梶井 勇輔 倉持 宏

■出場試合なし

## 31代 [平成10年度卒業]

#### 

渡辺 真治

■第35回関東学生大会 平成10年5月4日[日本武道館]

男子組演武段外の部…入賞者なし 女子組演武初段の部…入賞者なし 男子組演武初段の部…入賞者なし 女子組演武段外の部…入賞者なし 女子三人掛の部…入賞者なし

■第32回全日本学生大会 平成10年10月18日[日本武道館]

男子組演武二段の部…入賞者なし

男子組演武初段の部…入賞者なし 男子組演武段外の部…入賞者なし 男女組演武有段の部…入賞者なし ■第6回杉本杯

平成10年10月25日[法大工学部体育館]

個人…③鈴木裕也(営2)

# 32代 [平成11年度卒業]

#### 

小沢 祐介 川崎 哲也 正木 人平 松浪 宜秀

■第36回関東学生大会 平成11年5月4日[日本武道館]

男子組演武二段の部…入賞者なし 男子単独演武の部…入賞者なし 女子三人掛の部…入賞者なし ■第33回全日本学生大会 平成11年10月31日[日本武道館]

男子単独演武の部…入賞者なし 男子組演武初段の部…入賞者なし 3位決定戦…専大 1-1 立大 男子組演武段外の部…入賞者なし 男子三人掛の部…入賞者なし

女子組演武初段の部…入賞者なし

■第7回杉本杯

平成11年11月14日[法大工学部体育館]

①東農大 ②上智大 ③立大

1回戦…専大 1-1 明大 (ポイント20-16) 2回戦…専大 2-1 東大 準決勝…専大 0-3 上智大 (1試合不戦敗の為、専大の負け) 個人…優勝 山口典明(文2)

# 33代 [平成12年度卒業]

#### 

鈴木 裕也 畑田 信吾 深谷 鮎子 向島 知宏

■第37回関東学生大会 平成12年5月4日[日本武道館]

男子組演武二段の部…入賞なし 向島知宏(商4)・緒方寿憲(経2)

女子組演武初段の部…入賞者なし 男女組演武段外の部…入賞者なし

■第34回全日本学生大会 平成12年10月15日[日本武道館]

男子組演武二段の部…入賞者なし 男子組演武段外の部…入賞者なし 女子組演武二段の部…入賞者なし 男子組演武単独有段の部…入賞者なし 男女組演武段外の部…入賞者なし 団体演武…入賞なし

# 34代 [平成13年度卒業]

#### **9** 専修大学体育会少林寺拳法部

石海 佳菜子 鹿島 志芳 中山 綾 原 秀之 吉田 直生

■第38回関東学生大会 平成13年5月4日[日本武道館]

組演武二段の部…予選落ち 組演武段外の部…予選落ち

■第35回全日本学生大会 平成13年11月4日[日本武道館]

単独演武有段の部…予選落ち 組演武二段の部…予選落ち 組演武初段の部…予選落ち 三人掛の部…予選落ち

# 35代 [平成14年度卒業]

#### 

緒方 寿憲 久保田 豊

■第39回関東学生大会 平成14年5月4日[日本武道館]

組演武初段の部…予選落ち

■第36回全日本学生大会 平成14年10月13日[日本武道館]

組演武二段の部…予選落ち 組演武初段の部…予選落ち 三人掛の部…予選落ち

# 36代 [平成15年度卒業]

### ● 専修大学 体育会少林寺拳法部

笠木 裕哉 長澤 竜也 渡辺 久

■第40回関東学生大会 平成15年5月4日[日本武道館]

男子単独演武の部…入賞者なし 男子組演武段外の部…入賞者なし

■第37回全日本学生大会 平成15年10月5日[代々木第一体育館]

男子団体演武…予選落ち 男子組演武段外の部…入賞者なし 女子組演武段外の部…入賞者なし

# 37代 [平成16年度卒業]

#### 

#### 幹部部員無し

#### ■第41回関東学生大会 平成16年5月4日[日本武道館]

男子組演武二段の部…入賞者なし 男子単独演武の部…入賞者なし 女子組演武初段の部…入賞者なし

■第38回全日本学生大会 平成16年11月7日[日本武道館]

男子組演武二段の部…入賞者なし 男子組演武初段の部…入賞者なし 男子組演武段外の部…入賞者なし 男子単独演武の部…入賞者なし 女子組演武初段の部…入賞者なし 女子組演武段外の部…入賞者なし

# 38代 [平成17年度卒業]

● 専修大学 体育会少林寺拳法部

児玉 一平

■第42回関東学生大会 平成17年5月4日[日本武道館]

男子組演武二段の部…入賞者なし 男子単独演武段外の部…入賞者なし 男子組演武段外の部…入賞者なし 男子組演武段外の部…入賞者なし 女子組演武二段の部…敢闘賞

■第39回全日本学生大会 平成17年11月6日[日本武道館]

男子組演武初段の部…入賞者なし 小笠原日奈子(文3)・粕谷尚子(法2) 男子組演武二段の部…入賞者なし 男女組演武二段の部…入賞者なし 女子組演武段外の部…入賞者なし

39代 [平成18年度卒業]

● 専修大学 体育会少林寺拳法部

村松 慶太 小笠原 日奈子

■第43回関東学生大会 平成18年5月4日[日本武道館] 成績

女子組演武段外の部…敢闘賞 山本有里(経2)・武藤未来子(文2) 女子単独有段の部…入賞者なし 男子組演武初段の部…入賞者なし 男子単独演武段外の部…入賞者なし 男子三人掛の部…入賞なし 男子単独演武有段の部…入賞者なし 女子三人掛の部…入賞なし 男女組演武二段以上の部…入賞者なし

■第40回全日本学生大会 平成18年11月5日[日本武道館] 成績

男子組演武段外の部…入賞者なし 男子単独演武段外の部…入賞者なし 男子組演武初段の部…入賞者なし 男子組演武段外の部…入賞者なし 男子組演武二段の部…入賞者なし 男子単独演武有段の部…入賞なし 男子組演武二段の部…入賞者なし 女子単独演武有段の部…入賞なし

40代 [平成19年度卒業]

佐藤 将太

■第44回関東学生大会 平成19年5月4日[日本武道館] 成績

団体演武…専大本選出場 男女組演武初段の部…優良賞 益満隆行(文3)・山本有里(経3) 男女組演武段外の部…入賞者なし 男女単独演武段外の部…入賞者なし 男子組演武二段の部…入賞者なし 女子組演武二段の部…入賞者なし 男子組演武二段の部…入賞者なし 男子組演武初段の部…入賞者なし 男女組演武二段以上の部 男子単独演武有段の部…入賞者なし 女子単独演武有段の部…入賞者なし 佐藤将太(法4)・平安時由香(国士大) 男子三人掛の部…入賞なし

■第41回全日本学生大会 平成19年10月8日[日本武道館] 成績

団体戦の部…本選進出11位 個人戦の部

男子単独演武段外の部…入賞者なし 男子組演武段外の部…入賞者なし 男女組演武段外の部…入賞者なし 男女組演武初段の部…入賞者なし

…本選進出(7位相当) 女子組演武二段の部…入賞者なし 男子組演武三段以上の部…入賞者なし

# 41代 [平成20年度卒業]

♥ 専修大学 体育会少林寺拳法部

大森 智史 崎田 雅俊 鈴木 健太 千葉 貴史 益満 隆行 武藤 未来子 村松 有里 (旧姓・山本)

■第45回関東学生大会 平成20年5月4日[日本武道館]

男子組演武段外の部…入賞者なし 男子組演武初段の部…入賞者なし 男子組演武二段の部…入賞者なし 男子組演武三段の部…入賞者なし 男子単独演武有段の部…入賞者なし 女子組演武二段以上の部…本選出場 密本約世(法3)・管野賀陽(文3) 団体演武の部…本選出場(7位相当)

■少林寺拳法神奈川大会 平成20年7月20日[横浜文化体育館]

一般男子三段の部…優良賞(3位相当) 長島亮太(経3)・山田(東京福祉大) 一般男子初段の部…本選出場 吉田達弥(法3)・小林浩己(経2) 一般男子級拳士の部…本選出場 守屋明人(文2)・飯田悟史(法2) 一般女子二段の部…本選出場 山本有里(経4)・武藤未来子(文4) 男女運用法の部…最優秀賞(1位相当) 大森智史(法4)・橋口瑛(文1) 全国少林寺拳法大会出場権獲得

■第42回全日本学生大会 平成20年9月28日[日本武道館]

男女組演武段外の部…予選落ち 男子単独演武段外の部…予選落ち 男子単独演武有段の部…予選落ち 男子組演武初段の部…予選落ち 男子組演武二段の部…予選落ち男子 組演武三段の部…予選落ち 女子組演武二段の部…予選落ち 女子組演武三段の部…予選落ち 男子三人掛の部…本選出場 鈴木健太(法4)・長島亮太(経3)・山 田(東京福祉大)

男子団体演武の部…予選落ち

■杉本記念合同練習会 平成20年10月5日[法大市ヶ谷総合体育館]

①上智大 ②東大 ③東農大 ④慶大 第1戦…専大 5-20 上智 第2戦…専大 11-7 法大

■少林寺拳法全国大会 平成20年11月2日 [岡山県総合グラウンド]

一般女子二段以上の部…予選落ち 男子運用法の部…優良賞 大森智史(法4)・橋口瑛(文1)

42代 [平成21年度卒業]

菅野 賀陽 長島 紗世 (旧姓·密本) 長島 亮太

吉田 達弥

■第46回関東学生大会 平成21年5月4日[日本武道館]

男子単独演武有段の部…本選出場 橋口瑛(文2)

男子三人掛の部…本選出場 長島亮太(経4)・井上崇(営2)・山田(東 京福祉大)

女子単独演武有段の部…本選出場 菅野賀陽(文4)

男子組演武段外の部…入賞者なし 団体演武の部…本選出場 長島亮太(経4)・小林浩己(経3)・飯田 悟史(法3)・守屋明人(文3)・荒木啓(経 2)・佐々木繁(営2)・井上崇(営2)・橋

口瑛(文2)

■少林寺拳法神奈川大会

平成21年7月19日[横浜文化体育館]

一般男子級拳士の部…入賞者なし 男女運用の部…入賞者なし

一般団体の部…最優秀賞 長島亮太(経4)・小林浩己(経3)・守屋 明人(文3)・荒木啓(経2)・橋口瑛(文2)

■少林寺拳法全国大会

平成21年10月11日[青森県青い森アリーナ]

一般団体の部…予選敗退

■第43回全日本学生大会

平成21年11月15日[日本武道館]

35

団体演武の部…予選敗退

男子組演武段外の部…入賞者なし 男子組演武二段の部…入賞者なし 男子組演武三段の部…入賞者なし 男子三人掛の部…入賞者なし

男子単独演武有段の部…入賞者なし 女子組演武二段以上の部…本選出場 密本沙世(法4)・菅野賀陽(文4)

43代 [平成22年度卒業]

**中**傳修大学体育会少林寺拳法部

飯田 悟史 小林 浩巳

■第47回関東学生大会 平成22年5月4日[日本武道館]

男子単独演武有段の部…入賞者なし 男女単独演武段外の部…②小木健吾(商2) 男子組演武段外の部…入賞者なし 男子組演武二段の部…入賞者なし 男子組演武三段の部…⑧橋口瑛(文 学生単独有段の部…優秀賞 3) · 山田(東京福祉大)

団体演武の部…⑧橋口瑛(文3)・鈴木 学生単独段外の部…優良賞 邦茂(法3)・佐々木繁(営3)・井上崇(営 3)・荒木啓(経3)・山田(東京福祉大)

■杉本記念合同練習会 平成22年7月4日[法大市ヶ谷キャンパス]

①慶大 ②明大 ③早大 1回戦…専大 2-3 法大 敗者戦…専大 3-2 昭和大 ■少林寺拳法神奈川大会

平成22年8月29日[横浜文化体育館]

一般男子級拳士の部…入賞者なし 一般男子二段の部…入賞者なし 一般男子三段の部…優秀賞

修練発表の部…入賞者なし

岡本翼(経1)・山田(東京福祉大)

■第60回世田谷体育大会少林寺拳法大会 平成22年11月3日[世田谷総合運動場体育館]

成績 この大会が全日本予選となる 学生団体の部…優良賞 学生男子段外の部…優良賞 飯岡聡(法1)・鈴木禄喜(ネット1) 岡本翼(経1)

吉住純輝(ネット1)

学生男子初段の部…入賞者なし 学生男子二段以上の部…優秀賞 飯田悟史(法4)・佐々木繁(営3)・荒木 啓(経3)

■第44回全日本学生大会 平成22年11月7日[日本武道館]

団体演武の部…入賞者 (8位まで) なし 男子組演武段外の部…⑧飯岡聡(法1)・ 鈴木禄喜(ネット1)

男子単独演武段外の部…入賞者 (8位まで) なし 男子組演武初段の部…入賞者(8位まで)なし 男子単独演武有段の部…入賞者(8位まで)なし 男子三人掛の部…入賞者 (8位まで) なし

# 44代 [平成23年度卒業]

井上 崇 佐々木 繁 鈴木 邦茂 橋口 瑛 山田 茂人

■第48回関東学牛大会 平成23年9月25日[慶大日吉キャンパス] 平成23年11月6日[日本武道館]

男女組演武段外の部…予選敗退 男子単独演武段外の部…予選敗退 男子組演武初段の部…予選敗退 男子組演武二段以上の部…予選敗退 男子単独演武有段の部 三人掛の部…⑧井上崇(営4)・橋 口瑛(文4)・山田(東京福祉大) 団体演武の部…予選敗退

■第45回全日本学生大会

単独演武段外の部…予選敗退 単独演武有段の部…予選敗退 男子組演武初段の部

…入賞者 (8位まで) なし 男子組演武二段以上の部…予選敗退 男子三人掛の部…予選敗退 男女組演武段外の部…予選敗退 団体演武の部…予選敗退

# 45代 [平成24年度卒業]

♥ 専修大学 体育会少林寺拳法部

小木 健吾 関本 良太郎

■第49回関東学生大会 平成24年5月4日[日本武道館]

単独演武段外の部…本選出場 単独演武有段の部…予選敗退 三人掛の部…本選出場 団体演武の部…予選敗退 ■第46回全日本学生大会

平成24年11月4日[日本武道館]

成績

単独演武段外の部…予選敗退 単独演武有段の部…予選敗退 男子組演武初段の部…予選敗退 男子組演武二段以上の部…予選敗退 男子三人掛の部…予選敗退 男女組演武段外の部…予選敗退 団体演武の部…予選敗退

46代 [平成25年度卒業]

飯岡 聡 鈴木 禄喜 橋口 圭介 吉川 達也 吉住 純輝 米山 寛貴

■第50回関東学生大会 平成25年5月4日[日本武道館]

男子組演武二段以上の部…予選敗退 男女組演武茶帯の部…予選敗退 単独演武有段の部…予選敗退 三人掛の部…予選敗退 団体演武の部…予選敗退

■第47回全日本学生大会 平成25年11月17日[日本武道館] 成績

単独演武段外の部…予選敗退 単独演武有段の部…予選敗退 男子組演武二段以上の部…⑧飯 岡聡(法4)・渡慶次道留(営1) 男女組演武二段以上の部…予選敗退 男子組演武白緑帯の部…予選敗退 男子立会評価法 軽中量の部…優 勝 飯岡聡(法4) 団体演武の部…予選敗退

47代 [平成26年度卒業]

居村 沙紀

■第51回関東学生大会 平成26年5月4日[日本武道館]

単独段外の部…入賞者(8位まで)なし 単独有段の部…③渡慶次道留(営2) 男子白緑帯の部…④川田友洋(経 2)・福田崇生(経2) ⑧井口拳(ネット2) 杉谷拓紀(ネット2)

男女組演武初段の部…入賞者(8位まで)なし 単独有段の部…予選敗退 女子組演武二段以上の部…入賞者 (8位まで)なし

■第12回関東学生新人大会 平成26年9月28日[日本武道館]

単独段外の部…入賞者(8位まで)なし 単独有段の部…④渡慶次道留(営2) 男子白緑帯の部…入賞者 (8位まで) なし

男子組演武茶帯の部…⑥川田友洋 (経2)・井口拳(ネット2) 女子組演武有段の部…⑤古賀史

■第47回全日本学生大会 平成26年11月17日[日本武道館]

乃(経2)・藤本彩奈(文2)

単独段外の部…予選敗退 男子組演武茶帯の部…④川田友洋 (経2)・井口拳(ネット2) 男子組演武初段の部…予選敗退 男子組演武二段の部…予選敗退

男子三人掛の部…予選敗退 男女組演武段外の部…予選敗退 団体演武の部…予選敗退

# 48代 [平成27年度卒業]

#### **今** 専修大学体育会少林寺拳法部

東寺 雄輝

■第52回関東学生大会 平成27年5月4日[日本武道館] 成績

立合評価法男子個人の部…1位 渡慶次道瑠(営3)

■神奈川県大会

平成27年7月5日[横浜文化体育館] 成績

大学生組演武の部…1位 渡慶次道瑠(営3)・鈴木佑奈(人1) ■第48回全日本学生大会 平成27年11月15日[日本武道館] 成績

立合評価法男子軽量級の部…5位 渡慶次道瑠(営3) 男子初段組演武の部…5位 川田友洋(経3)・杉本将樹(経2)



[寄贈] 6代·高丸 義比古



# 4年生

#### **今** 専修大学体育会少林寺拳法部



<sup>主将</sup> 渡慶次 道瑠

学 部 経営学部経営学科 出身地 神奈川県 出身高校 神奈川県立座間高等学校 趣 味 日曜大工・スノボ 私は、小学生の頃に座間道院に入門し藤野祐彰先生のもとで少林 寺拳法を始めました。その後、座間高校少林寺拳法部で小野寺智 先生の指導を受け、そしてこの専修大学体育会少林寺拳法部に入 部いたしました。50年もの歴史を持つ部活の主将を務めることは 大きな責任も感じますが、先輩後輩、同期のフォローのおかげで 何とかこれまで乗り越えてまいりました。引退まで残り僅かとなっ てしまいましたが4年間の集大成と専修大学体育会少林寺拳法部 への恩返しとして、しっかりと結果を残したいと思っております。



副将 井口 拳

 
 学
 部
 ネットワーク情報学部 ネットワーク情報学科

 出身地
 東京都中野区

 出身高校
 東京都立鷺宮高等学校

 趣
 味
 ネットサーフィン (少林寺拳法関係)
 私は少林寺拳法を大学からはじめました。始めたきっかけは何か最後の学生時代に打ち込めるものをやりたいという思いからです。部活動では日々練習に打ち込み、先輩や同期からから様々なことを学びました。結果として自分自身でも驚くほど部活動に打ち込むことができました。最高学年として残すところ数ヶ月の部活動ですが、自分が先輩から沢山のことを学んだように、後輩にも様々なことを教え伝えていきたいです。



主務 古賀 史乃

学 部 経済学部経済学科 出身地 神奈川県相模原市 出身高校 神奈川県立橋本高等学校 趣 味 マンガを読む 自分は4年次経済学部経済学科の古賀と言います。小学生の頃から続けていた少林寺拳法ですが大学に入り部活動で頑張っていきたいと思い入部しました。4年間あっという間でしたが入部して多くの事を得ることが出来ました。大学生活は終わってしまいますがこれからも頑張っていきたいと思います。



<sup>渉外</sup> 森田 真之

学 部 文学部環境地理学科 出身地 東京都江戸川区 出身高校 東京都立小松川高等学校 趣 味 登山・スキー・デジカメ 大学から始めた少林寺拳法。4年間修練を続けてみて技術や体力面、そしてメンタル面も大きく成長できたと思っています。その結果、入部当初からの目標であった弐段位を取得することができました。少林寺拳法を始めて良かったと思ったのは、一緒に修練に取り組む仲間に恵まれたことです。個性豊かなメンバーに囲まれ過ごした少林寺拳法部での日々は充実したものでした。引退まで残り僅かですが、悔いの残らないように精一杯頑張ります。



<sup>統制</sup> 川田 友洋

学 部 経済学部経済学科 出身地 埼玉県春日部市 出身高校 私立春日部共栄高等学校 趣 味 テレビ・ネット動画・ゲーム 自分は少林寺拳法の柔法に魅力を感じて体育会少林寺拳法部に 入部しました。少林寺拳法は流派がなく、技術は世界共通なの ですが、例えば技練習では一人一人言うことが違います。これ は拳の三訓(守・破・離)によるもので、決してみんな間違っ たことは言っていないと考え、十人十色それぞれの良いところ を盗むように心掛けました。二段の試験では受けがすべて転身 になっていると指摘されたので、避ける・かわすことを意識し てしっかりとした護身術を身につけたいと思います。



会計
藤本 彩奈

学 部 文学部 歴史学科 出身地 神奈川県相模原市 出身高校 私立相模女子大学高等部 趣 味 カラオケ・映画鑑賞 自分は専修大学体育会少林寺拳法部四年次の藤本彩奈です。小 学生から少林寺拳法を続けていますが、小さい頃はただなんと なく形を覚えていただけでした。しかし、大学の部活動に入部 したことで監督をはじめ、多くの諸先輩方、同期、後輩から様々 なことを学び、自分自身が少林寺拳法という武道の深さを実感 できました。この貴重な四年間の経験を糧にしてこれからも一 層努力し、修練に励んでいきたいと思っています。



<sup>広報</sup> 杉谷 拓紀

学 部 ネットワーク情報学部 ネットワーク情報学科 出身地 神奈川県相模原市 出身高校 神奈川県立上溝南高等学校 趣 味 ベース・バイク 4年次の杉谷拓紀です。1年のときに勧誘され少林寺拳法部に 入部してから早数年。引退も目の前に迫ってきました。いまま でお世話になった、OBOG 先輩方、監督、先輩、同期、後輩に は感謝してもしきれないほどいろいろなものをもらったと思い ます。少林寺拳法を通じて得た経験とさまざまな出会いに感謝 しつつ、人として更なる成長とともに、恩返しをしていけたら いいと思っています。



<sup>学連担当</sup> 川上 大輔

学 部 経済学部経済学科 出身地 千葉県出身 出身高校 私立東京学館高校 趣 味 漫画・映画鑑賞 少林寺拳法部、4年次の川上大輔です。自分は、大学に入って から初めて部活に所属したので、先輩方、同期、後輩との練習 や合宿など、新鮮なことばかりで、多くを学ばせていただきま した。残り少ない現役生活ですが、部活を引退した後も、学ん だことを糧とし向上心を持ち生きていきたいです。

# 3年生

#### **9** 専修大学体育会少林寺拳法部



杉本 将樹

学 部 経済学部国際経済学科 出身地 静岡県 出身高校 静岡県立磐田南高等学校 趣 味 ドラマ鑑賞・即興ラップ 私は大学生活4年間で打ち込むものが欲しくて体育会少林寺拳 法部に入部致しました。昨年度までは先輩方からの御指導に対 し、恩返しをするため大会での個人の結果が少しでも良くなる よう組演武を中心に自分の演武の技術向上を目指し努力して参 りました。しかし、今年は3年次、来年は最高学年になるので 後輩指導に力をいれ、自分は残りの大会では昨年度より更なる 良い結果を目指し、部活動全体を活気づけ上級生として貢献出 来るようにしたいです。



三浦 彩友美

学 部 経済学部経済学科 出身地 神奈川県平塚市 出身高校 神奈川県立平塚江南高等学校 趣 味 書道 自分は将来の夢を見越して少林寺拳法を始めました。中学では ソフトテニス部、高校では硬式テニス部に所属しておりました。 初めて武道を学ぶ中で、身体面と同様に精神面を鍛えることの 大切さや「本当の強さ」の意味を考えるようになりました。そ の上で技術の向上に努め、日々の修練に励んでおります。まだ まだ未熟ですが、精進して参りますのでご指導宜しくお願いし ます。



織田 七虹

学 部 文学部環境地理学科 出身地 石川県金沢市 出身高校 石川県立金沢高等学校 趣 味 牛乳とエナジードリンクを飲むこと 修練中は試練がたくさんあります。痛いです。とても疲れます。 なかなか思うように技が出来なくて悔しいです。でもその辛い 気持ちの2倍、先輩方や同期や後輩に少しでも近づけた時はと ても嬉しく、日頃の練習を生かし演舞をしている時はやり甲斐 に満ち溢れています。

# 2年生

#### 下村 泰輝



学 部 経営学部経営学科 出身地 栃木県宇都宮市 出身高校 栃木県立宇都宮商業高等学校

味人間観察

#### 

小学1年生から7年ほど少林寺拳法をやっていたのですが、他に打ち込めるモノを見つけ5年ほど離れておりました。久しぶりに少林寺拳法に触れたいという思いが高校の部活引退後急に芽生え大学に入りやることに致しました。そのため大学1年の時は技と名前が一致せずとても苦労しておりました。2年生になり、後輩に指導する立場になったため技が曖昧な状況のまま教えるということがないように復習に力を注ぎます。今年度は先輩、同期、後輩から吸収できるものは全て吸収し、自身の技術向上、後輩指導に当たりたいです。



平島 柊聖

学 部 商学部マーケティング学科 出身地 神奈川県 出身高校 神奈川県立有馬高等学校 趣 味 カラオケ・食べ歩き 自分は高校生の時に少林寺拳法に出会い始めました。なので少 林寺拳法を始めて今年で5年目になります。少林寺拳法を始め たことにより、心身共に強くなることが出来ました。また、少 林寺拳法を始めたことにより、数多くの人達と出会う事ができ ました。なので、自分にとって少林寺拳法は人生において欠か せない大切な物です。これからも自己の成長、人と人の縁を大 切にし、少林寺拳法を生涯続けていきたいと思います。



鈴木 佑奈

学 部 人間科学部心理学科 出身地 千葉県 出身高校 千葉県立成田国際高等学校 趣 味 食べること 少林寺拳法を始めて11年が経ちました。地元の道院で始めた 少林寺拳法に夢中になり、高校は少林寺拳法部のある高校に進 みました。高校最後の夏には全国制覇を果たしました。大学入 学当初は新しいことを始めようと考えていましたが少林寺拳法 部の勧誘を受け、先輩方の部活に対する熱意に心が揺さぶられ、 入部する決意をしました。在学中に四段取得と、全日・全国で 優勝することが目標です。日々の修練で心身ともに鍛え、立派 な拳士になれるよう努力致します。

# 1年生

#### **9** 専修大学体育会少林寺拳法部



亀之園 祈里

学 部 文学部哲学科 出身地 東京都羽村市 出身高校 東京都立上水高等学校 趣 味 読書 自分は大学に入学するときに、様々なことに挑戦したいと考えていました。その一つが少林寺拳法部への入部でした。しかし気づくとこの半年間、少林寺拳法しかしていないように感じます。それほど自分はこの部活動で充実した時間を過ごすことができています。尊敬する先輩方や、共に切磋琢磨し合える同期に恵まれていることに感謝し、これからも人間的に大きくなれるよう努力を続けたいです。



谷村 祐作

学 部 経済学部経済学科 出身地 神奈川県 出身高校 神奈川県立霧が丘高等学校 趣 味 軟式テニス・サイクリング 自分は中学三年間と高校一年間、軟式テニス部に所属していました。ですが大学では新しいことを始めてみたいと思い、少林 寺拳法部に入部することを決めました。高校の時自分は部活を途中で退部してしまい、その後の高校生活はなんとなく時間が 過ぎていくだけでした。ですが、今は毎日が充実していてとても楽しいです。これからも先輩方や同期の仲間たちと精一杯練習に励み、心身ともに成長していきたいです。



永渕 由梨

 学
 部
 文学部英語英米文学科

 出身地
 神奈川県相模原市

 出身高校
 神奈川県立神奈川総合高等学校

 趣
 マジオ鑑賞・演奏会に行くこと

中学高校の6年間は吹奏楽に打ち込み、大学に入学してから少林寺拳法を始めました。OBOGの皆様、そして先輩方同期から学べることが多くこの環境で修練させていただけるありがたさを日々感じています。まだまだ技術面、精神面ともに改善できる点がたくさんありますが、これからも自分の出来ていないことを発見することを恐れず楽しむことも忘れずに精進していきます。



洞内 朋泰

学部人間科学部社会学科出 身 地東京都出身高校東京都立南平高等学校趣味昆虫観察

自分は中学、高校と硬式テニス部に入っていて、大学から少林 寺拳法を始めました。今までやっていたスポーツとは全く方向 性の違うものなので未だ慣れない事も多いですが、先輩からの アドバイスを基に自分からも積極的に取り組んでいき、少しず つ慣れていきたいです。先輩には黒帯の方が多く、その内の大 半が4年次の先輩なので、今だからこそ学べる、今しか学べな い事が沢山あると思います。自分が来年後輩を持った時自信を 持って教えられるよう、この1年間で心身ともに鍛えていきた いです。



舛澤 喜利子

学 部 文学部歴史学科 出身地 神奈川県相模原市 出身高校 神奈川県立上溝南高等学校 趣 味 音楽鑑賞 自分は大学に入ってから少林寺拳法を始めました。それまで中学・高校と、剣道部に所属していました。大学でも剣道を続けようか悩んでいる時に、先輩方から勧誘を受け部活の練習に何度か参加させていただきました。和気あいあいとした雰囲気の良さや練習風景に魅力を感じ、少林寺拳法部に入部しました。練習の中での自分の欠点を改善し、仲間と共に切磋琢磨しながら心身共に強くなりたいと思っています。





# 支 部 長 寄 稿

#### 北海道支部

## [2代·北海道支部長] 安澤 憲一



さわやかな、澄み渡る秋晴、快適の候を迎えたこの日に、専修大学体育会少林寺拳法部、創部五十周年を迎え、その記念すべき式典を10月15日(土)の今日ここ浅草ビューホ

テルにて開催する運びとなった事を、心から喜ぶと共に、日頃から我母校に携わる全ての方々、OB緑拳会、星野会長を始め、此の度の式典実行委員長、樋口君並びに関係者各位に心より敬意を表する次第です。

一口に創部 50 周年と云うが、半世紀と云う永き年月の経過を思うと歴史の重みと、日頃からの少林寺拳法を愛する者として、一環した行動力と親睦の和を大切に、長年に渡り尽力を賜って来ました先輩各位を始め、開祖の宗道臣先生の教えが、我々拳士全員に浸透されているのではないかと思います。

昨年、青少年の巻き起す事件を初め、育児虐待、台 風被害と我々にとっては大変打撃と不安を抱えた一年 も、あと三ヶ月足らずで終わろうとしていますが、こ の一年の中で、暗いニュースばかりではありませんで した。今年8月21日まで、17日間行われた、リオデジャ ネイロで開催されたオリンピックに於いては、日本人 が日本国民の全ての人に感動と勇気を与えてくれた様 に思われます。日本選手が取得したメダルの総数は、 史上最多の計41個で、金12個、銀8個、銅21個と云 う快挙を成し遂げました。おそらく拳士諸氏もテレビ に釘付けになり、毎日寝不足が続いたのではないでしょ うか。

さて、記念誌とは過去を記録し、現在を見つめ、将来のあるべき姿を考え、後世に残す貴重な資料であり、拳士達の心の通った記録集であります。此の度の記念誌発刊に携わった皆様方のご苦労がしのばれます。

私も、北海道支部の代表の一人として、微力ではありますが、皆んなと共に均衡のとれた組織作りの為に、 力添えの機会を作っていければと思っております。

終わりに、専修大学体育会少林寺拳法部を結成され た初代主将の水野先輩率いる同期の皆様方の御苦労と 御尽力に、心から哀悼の意を表しますと共に、皆様方の健康と増々の社会への貢献を祈願致しまして、謹んで感謝申し上げたいと共に、専修大学体育会少林寺拳法部の増々発展と、緑拳会の構築に情熱を傾注して行こうではありませんか。



写真右が同期の枝村氏。生前来道、札幌での楽しいひと時!

# 東北支部 創立50周年を迎えて

## [3代·東北支部長] 小笠原 高志



創部 50 周年に心からの祝意を表し、記念式典に出席できることを無上の喜びに感じております。

星野 OB 緑拳会会長・樋口実行委 員長をはじめ、本日の記念式典開催

までご尽力下さいました関係者各位に、深甚なる謝意 と敬意を申し上げます。誠にありがとうございました。 星野会長には数年前から必ず参加するとは伝えており ましたが、やっと実現して感無量の念があります。

我々地方在住者は、直接準備等のお手伝いができな

いので、せめて参加する事が使命と感じておりました。 現役時代の思い出を若干申し述べます。我々3代目 は昭和42年の入学で、当時はまだ同好会でした。4年 生がいなく3年生17名、2年生18名、1年生20数名 (卒業時は19名)合計約60名でした。最も強く印象に 残っているのは何と言っても1年生の夏の合宿です。 志賀高原竜王スキー場の、野外グランドでの稽古でし た。入学後数か月であり普段の練習にもついていくの がやっとなのに、合宿です。技術の習得・基礎体力の 鍛錬に加え、練習道具の運搬をはじめとする練習場の 準備・片付け。汗まみれ・砂まみれで鼻の穴まで真っ



黒状態でした。宿舎に帰ってからは食事の準備・片付 け等先輩のお世話があります。就寝前になると、暇を 持て余した先輩から「1年次集合 |の声がかかります。「ま たかよ」と思い整列するとすかさず「チン足用意」の 号令。《注:チン足=振り○○・中段構え・左右足刀》「1・ 2・3・4」自然と手が下がっていきます。すぐに2年生 から「下段構えじゃない、中段に構えろ」という暖か い叱咤激励の声がかかります。深夜遅くの就寝・早朝 の起床、まさに地獄の苦しみとは此のことかと思える 1週間でした。合宿最終日最後の午後練習終了後、当 時の小松崎忠雄コーチ (明大 OB) が、3年生・2年生 を先に宿舎に帰し、1年生だけで「整列」「鎮魂」数分 後「鎮魂やめ」、その後次のような訓話をして下さいま した。「全員大きな眼を見開いて、360度この夕闇迫る 志賀高原の山並の景色を、眼に焼き付けておけ。これ から4年間の部活動・大学生活、さらには社会人になっ てからも、様々な苦しい事・厳しい事・困難な事に直 面すると思うが、その時は今日のこの景色を思い出せ ば、これから直面する様々な事柄は必ず克服出来る筈 だ。自信を持って対応しなさい。」

この言葉はあの時の情景と共に深く心に残っています。70歳目前のこれまでの人生で、小松崎コーチの言葉通りに対処できたかは甚だ疑問ですが、いずれにせよ専修大学体育会少林寺拳法部に在籍した大きな収穫の一つです。我が部のさらなる充実・発展を祈念しています。

#### 埼玉支部

## [17代·埼玉支部長] 小林一博

半世紀に及ぶ歴史を刻んできた、専大少林寺拳法部 OB の一人として、創部 50 周年記念式典の開催を、大変うれしく感じるとともに、星野 OB 緑拳会会長をはじめ、式典開催にご尽力くださいました、樋口実行委員長、本部執行委員の方々に心から感謝いたします。

17代の自分は、昭和56年に入学・入部しましたが、 1年生のとき主将として部を率いていたのが、50周年 式典実行委員長の14代樋口先輩でした。

その年の夏合宿は、浄土ヶ浜が有名な岩手県宮古市で行われました。春の仮入部終了後しばらくして、勧誘用の練習から一転して始まった基礎体力強化中心の練習が、この合宿を乗り越えるためのものだったのかと思い知らされたことが、今も強く印象に残っています。

当時の練習は、合理的なトレーニングとはかけ離れ、 気合、気力を養う為の訓練といったもの。炎天下のグラウンドで、水は飲めない、とにかく叩かれ、蹴られ ながら、集団行動と基礎体力ばかり。何だかわからないが、どうにか今の状況に耐えることを叩き込まれ、 覚えさせられた、そんな合宿でした。



自分は、平成23年4月から福島県の南会津に赴任し、その間、被災した東北各地を視てきました。その中で、良くも悪くも思い出深い、あの宮古に行ってきたのですが、被災し、どこがどうだったのかもわからないほどの、そんな宮古を回りながら、合宿で来た当時のことを思い出し、あの合宿が、自分にとっては貴重な経験の一つであることを、改めて自覚したものです。

福島での勤務が1年を経過したところ、星野会長から電話があり、「創部50周年も近いので、こちらに戻ったら埼玉支部でも支部総会を開いてくれ。」と支部長を命じられ、同時に、埼玉支部総会の開催指示がありました。

支部総会は、埼玉から前 OB 会長の初代志賀先輩、2



埼玉支部総会にて(左端が本人)

代河野先輩、本部から OB 会長の 3 代星野先輩をはじめ執行部役員の参加をいただき、埼玉県秩父の白久温泉を会場に、平成 26 年 11 月、一泊二日の日程で開催しましたが、出席者それぞれの近況や OB 会、現役についての報告、協議が行われ、支部長として開催成果を感じることができました。

支部総会後の懇談会では、初代、2代、3代の先輩方を囲んで、有意義な時間を過ごすことができ、卒業後30年が経過した今でも、専大少林寺拳法部は、自分にとって貴重なところであると、確認する機会になりました。

専大少林寺拳法部は、初代主将の水野先輩をはじめ とする創部期の先輩方が、これを起ち上げた当時から、

> 今に至るまで、50年という長い間、多 くの部員に、変化と成長のための機会 と経験を与え続けてくれています。

> 自分は、創部 50 周年となるこの機会に、我らが専修大学体育会少林寺拳法部から自分が得たものを、あらためて認識することで、50 歳半ばとなった、これからの自分を考えるきっかけにできれはと考えています。

#### 東京支部

## [13代·東京支部長] 鴇田 斎

『祝・専修大学体育会少林寺拳法部創部 50 周年』本日の会場と同じこの浅草ビューホテルにて、40 周年をお祝いしてから、早10年。

本当に早いものです。私の入部は昭和52年、入学当初に同期は10名、何とかこのまま誰も辞めないでいけたらいいな、と思っていました。しかし、夏合宿を経て、翌春の本山合宿の時点では同期5名。そして、卒業時には3名となっていました。その卒業からも、すでに35年が経過しています。

都内に就職したことで、社会人となってからも、現 役の「新歓」や「幹部交代式」には出席しておりました。 そんな中で、徐々に『緑拳会』のお手伝いもするよう になり今に至っております。

今回の50周年という大きな節目に当たり、あらためて創部していただいた先輩方に感謝したい気持でおります。専大少林寺のおかげで、多くの先輩・同輩・後輩(もちろん他校の方も含め)と出会うことができました。拳法の実践からは、遠ざかっている現状ですが、仲間との付き合いはずっと続けていきたいと思っております。

個人的には還暦もちらつく年齢となり、3人の同期 とは2年に1度位の温泉旅行を楽しんだりしておりま す。以前には、それぞれの結婚式で再会したりするく らいでしたが、今日も全員集合の予定。

これからも、専大少林寺のOBであることに誇りと 自信を持ち続け、前進したいと思います。



同期との旅行で(中央が本人)

#### 千葉支部

### [3代·千葉支部長] 市川三夫

鎮魂 瞑想するとある風景が浮かんできました。昭和42年1年次の時、エイエイと合唱のような大きな声が聞こえます。生田校舎1号館屋上です。皆裸足で白帯の若者が大勢います。真剣な顔で突き蹴り、うさぎ跳び、中には竹刀で叩かれています。少林寺拳法の練習風景でした。昭和41年5月初代水野主将と諸先輩が立ち上げた同好会、昭和43年秋、角田先輩が関東学生大会に於いて個人乱捕で優勝しました。専大強しと他大学の声が聞こえています。

昭和45年当時自民党副総裁で専修大学理事長でもあった川島正次郎先生が日本少林寺拳法連盟総裁にとの話があり当時、体育会本部委員長瀬戸熊修氏が仲介役として肩入れされてわずか5年で待望の部昇格となった。何と強運なんだろう! あれから20~30年と経過し時代の変化と共に学生気質も変わり、自由な大学生活を送りたい学生が多くなり部員が集まらない時がありました。当時の監督、現役幹部は大変な思いをしたはず、道具も古くなり購入したいが資金不足。OB緑拳会は現役になるべく負担をかけまいとOB達に現況説明し、会費、寄附金をとお願いした時もありました。卒業以来合った事もないのに電話の向こうで了解したと快く賛同してくれた先輩、同期の皆様ほんとうに有難かったです。

平成26年7月悲しい出来事が起きました。我等同期の主将であり監督の経験もある難波良文が他界した。大勢の仲間が悲しみ太陽が沈んだように暗くなった。しかし開祖宗道臣の言葉で心情としている「挙ばは自己の幸せを挙ばは他人の幸せを」の星野OB緑拳会会長が校友会副会長に推薦されました。又太陽が昇り始めました。何と強運!

伊藤大先輩のご好意に依り浅草ビューホテルで平成 28年10月15日専修大学少林寺拳法部 創部50周年記 念式典を挙行する事になりました。伊藤良雄氏ラグビー 部出身。永く専大校友会副会長としてご活躍されまし た。星野会長が人生の師と仰ぐ方です。

現役の諸君、半世紀継続した専大少林寺拳法部、充 分伝統校として胸を張って下さい。4年次幹部が一番 大変ですが勉強になるはずです。順風満帆はほんの一 瞬です。四年間修行した経験を生かし、自分の判断力



を信じ決断して下さい。どうしても答えが出ない時は うしろに一生涯の友が控えておりますヨ。お互い話し 合い納得の答えを出して下さい。これが同期の絆とな るはず、社会人になったら必ずこの経験が生きるはず です。

最後に50周年記念式典実行委員の皆様、仕事片方、 星野会長の下、貴重な時間を費やしこの様な盛大なる 式典、心より感謝申し上げます。そして御苦労さまで した。



同期とのタイ旅行で(左端が本人)

# 神奈川支部 創部50周年にあたって

## [4代·神奈川支部長] 尾島 茂

専修大学体育会少林寺拳法部 創部 50 周年 おめでと うございます。この度の式典にご尽力されました、星 野会長、実行委員長の樋口君、幹部諸君、大変ご苦労 様でした

思い起こせば早50年があっというまに過ぎていきました。私が少林寺拳法部に入部したのは、厚木高校の先輩で柔道部の城所先輩(故人)、奥平先輩に誘われまして入りました。当時は同好会で練習も楽だし、趣味みたいなものだよ、空手部はきついし、1年でほとんどやめていくよ。当時空手部にサインしたため、やめるのに先輩に頼み込んで何とか空手部に入らなくてすみました。高校時代は水泳部に所属していましたので、水泳部に入るつもりでしたが、100mバタフライで65秒きらないとだめだといわれ、あきらめました。私は1分10秒でだめでした。おかげさまで少林寺拳法部に入部し現在があると感謝しています。ただ練習は半端なく、かなりハードで何度もくじけそうになりました。一番心に残った思い出は、忘れもしない大島の合宿で1た。

4年生の先輩 T 氏が竹刀をもって、ランニングの遅

い者を後ろから竹刀で叩いているので、夢中で走りました。おかげで足の裏がべろべろに剥けて、最後の打ち上げ納会で振るチン足刀で意識がなくなり、気がついたら横に寝かされていました。増木先輩に心配をお掛けしました。ちなみに同期の田村がおそかったので、殴られていました。

私は現在66歳で会社をすでに退職していますが、星野会長と同じオーケー株式会社に勤務していました。常に星野先輩は上司でしたので、学生時代の3年間会社時代の33年間で36年間上司でした。

1年先輩で小笠原さん、難波さん(故人)、星野さんがたしか教育係でいろいろ教えていただきました。4年生は神様、3年生は天皇、2年生は人間、お前ら1年坊は奴隷だ、とよく言われました。大変なクラブに入ったと、後悔したことを走馬灯のように脳裏を駆け巡りました。大学時代の経験があるので、社会に入っても、嫌なことも耐えられ、定年をオーケーで迎えました。コレも、専修大学少林寺拳法部のおかげだと思います。

最後に式典準備に携わりました、星野会長以下役員、 OBの皆様に心から感謝いたします。



北陸支部 創立50周年を迎えて

# [4代·北陸支部長] 村井 孝



本日の佳き日に、「専修大学体育会 少林寺拳法部創部50周年」の記念式 典が東京・浅草ビューホテルに於い て、かくも盛大に挙行されますこと、 誠におめでとうございます。心より

お祝い申し上げます。

早いもので半世紀となるこの記念の節目に、互いに 元気で、共にお祝いできますこと大変喜ばしく感激ー 筋でございます。

私たち地方の田舎に住む者として、何のお世話も協力もできず大変心苦しく思っております。

この開催にあたっては企画から準備等に携わられた 星野 衛・OB緑拳会長をはじめ、樋口 薫・記念式典実 行委員長並びに関係各位の皆様方のご支援ご協力に対 し、改めまして感謝と敬意を表します。

この間 50 年のほとんど東京・関東在住の諸先輩方々に頼り切った総会等でありましたが、ある総会で『地方でも総会等を開催し、交流を図ったらどうか?』と言う意見が取り上げられ、早速、第1回「中国・四国地方総会」(世話人・田村等中国支部長)が開催されました。その時、たまたま田村氏の母上の通夜葬儀と重なりましたが、それでも支部内の先輩後輩諸氏が手分け連携し支部長不在の中、見事に第一回地方総会を成功させ、参加者全員感動したものでした。

時を置いて、2011 年(平成23)あの東日本大震災の年でしたが、今度は、全会員6名程の小規模北陸の地で、富山市ANAホテルで11月4日(金)歓迎レセプション、5日(土)は午前の大会記念ゴルフ後「専修大学少林寺拳法部OB緑拳会・富山総会」を開催することができました。

言うまでもなく、総会開催には、本部OBの方々の ご指導ご協力を頂き、富山・金沢在住OB会員と交流 を兼ねて、何度も打ち合わせを行ったものでした。

翌6日(日)には専修大学校友会富山県支部長(会長)の大辻進氏の手配による「立山アルペンルートツアー」を企画しましたが、晴天であれば絶好の紅葉日和となる筈でしたが、「雨男・村井」のせいで、結局バスによる車中見学と日本一標高の「立山温泉」入浴のみでした。そう言ったほろ苦くも思い出深い経験でした。

少林寺拳法部創部 50 周年を迎えて、まだ 50 年、今 後益々の飛躍ご発展されますよう祈念するものであり ます。思い出は時代と共に移ろっていきます。 それぞれが体感した時代の経験や思い出を大切にして いきたいものです。

『専修大学体育会少林寺拳法部に栄光あれ!』



# 中国支部 創立50周年を迎えて

## [4代·中国支部長] 田村 等

私事ではありますが、専修大学体育会少林寺拳法部を卒業してからスーパーフジに入社しました。当時は11店舗の規模でした。現在100店舗に成長しております。昭和47年入社して店舗に配属されました。立花店から余戸店・今治店・川之江店・三島店・枝松店・高岡店・道後店・川之江店・枝松店・三島店・第4商品部・本町店・南宇和島・広島店・広島センター・宇部店・緑井店・高陽店と勤務させていただきました。

OB 緑拳会のメンバーとの連絡は池岡さん、沢井さんとは電話連絡で情報のやり取りをしています。平成21年6月にOB 緑拳会広島大会に協力をしてもらいありがとうございました。

私は年齢が66歳になり無職になり年金生活になりま した。

#### 九州支部

## [2代·九州支部長] 仲西 哲男

此の度、専修大学体育会少林寺拳法部がめでたく、 創部 50 周年を迎えて、さらに先生方や OB・OG 等や 有緑の皆様が一同に会し、盛大に記念式典が開催され ますことを、心よりお祝い申し上げます。

今、振り返れば現役当時の大人数の仲間とともに 春・夏の一週間の合宿はまさに 同じ釜の飯を喰った、 かけがえの無い同士で在りました。

早朝からのランニング・1000本の突き、蹴り、それに腕立て伏せの、基本鍛錬、実技の演練等 監督やコーチの下で厳しくも又、和やかな時を過ごせたことが、懐かしく思い出されます。

(当時は合宿が早く終わらないかと、初日から願っていたかも知れません?)

今になれば、あの当時の二度と出来ないだろう鍛錬が、 心身ともに鍛えられ、調和され、勇気を持つことや、 努力を重ねる大事さや、人との信頼感を深めることが 大切だと、実感しているところです。

おかげで帰郷しても、地域に少林寺拳法を理解させ、 普及し広めて、早、道院長歴 45 周年を迎えることが出 来ました。 まさに専大少林寺拳法部と同様、【継続は力なり!】 を実践しております。

今年の新春法会では、八段位を允可され、今後もさらに言動や、立ち居振る舞いにも留意し、責任の重大さを感じており、今後も生涯修行を目指し、益々の自己 鍛錬と探究心を怠らず日々を過ごす覚悟であります。

又、門下生に対し 教え、技法、教育システムの少 林寺拳法の三本柱を深く布教し、平和で住み良い理想 郷の建設創りに邁進して行ける拳士を一人でも多く育 成することが、願いで在り、責務でもあると自らに言 い聞かせております。

結びに 専大少林寺拳法部のご発展と、ご活躍、それに有縁の皆々様のご健勝を哀心よりご祈念申し上げます。



宗総裁と八段位認可(控室にて) 平成28年1月

#### ハワイ支部 おかげ様です、今日あるは50年前

## [3代·ハワイ支部長] 宮崎雅昭

創部 50 周年、OB の一員として心よりお祝い申し上げます。拳法部も「不惑の年」も過ぎ「天命を知る」年に入ってきた。部3代目の一員としては、還暦も過ぎ何時の時点かは知る由もないが、確実に人生折り返し点は過ぎたと思う。物忘れもあり、顔は浮かべど名前は中々出てこない。古い写真を見て情景を細部にわたり思い出す。誰と?何時?何を話した?

若かった当時を思い出す。これ呆け防止だという。 振り返ってみたい。当時練習場といえば生田校舎4号 館屋上、生田丘陵から関東平野が一望、大声張り上げ ても近所迷惑にならず。コンクリート打ちっぱなしで、 細かい砂の目の残ったザラっとした表面、足の裏をしっ かり受け止め、毎日の基本突き、蹴り、拳立て、基礎体力作りにと励んだ屋上。50年経った今でも足の裏はしっかり、その感覚を覚えている。多摩川陸橋下、近くの神社までのマラソン、専大体育祭で国立競技場でもリレーで走った。

厳しく思えた練習にもめげず、同期の日に日に上達 してゆく姿を見るにつけ、負けたくない気持ちを奮い 起こし、頑張る力、気持ち、そして技の向上を養った。 その中から少なくとも後の精神的に強くなることへの モチベーションが少しは培われたと思う。

練習も終わりホットして皆で遊園駅まで歩いて帰る。 夏合宿、本山合宿、日毎一日一日が同期の仲間意識を 強いものにしてくれた。互いに励ましあい助け合い相 手を思いやる、まさに拳禅一如の精神だった様に思う。

楽しい事も有り、苦しい事も有り きつい事も沢山 あった。しかし この四年間の経験が精神的にも肉体 的にも、50年経った今の自分自身を作り上げてくれ、 今なお現役として頑張れる。心の糧になっているのは 間違いない。

一期一会、同じ時代時間を共有した諸先輩の方々、同じ空気を吸って体験、経験を同じくした同期、後輩の諸兄等との出会いがなければ今日の自分もなく、皆さんに感謝する次第です。

50年間、各代の綿綿と築かれてきた業績に対し敬意を表すると共に創部50周年を一つの区切りとし、更なる飛躍の出発点とし、今後60年、70年、100年と継続活躍されんことを期待します。

タ日の方向に 生田校舎があることを想像、拝し益々 の少林寺拳法部発展を祈念します。 合掌





# OB·OG寄稿

#### 創部50周年にあたって

上出憲之

最初に、OB緑拳会の星野会長、記念式典実行委員会の樋口委員長はじめ、創部50周年記念式典にお世話をいただきました多くの皆様に御礼申し上げます。お世話くださる方々のお力なくして式典の開催はあり得ません。本当にありがとうございます。



さて、32年前、自分が少林寺拳法部に入部したのは 単純な理由でした。当時、プロレスが好きで格闘技に 興味のあった自分でしたが、高校の進路指導室にある 専修大学の案内に少林寺拳法部が掲載されており、春 は香川県の少林寺総本山、夏は全国各地のどこかで合 宿をやっていますというようなことが書いてあったた め、何かおもしろそうだなと思ったことがきっかけで した。

自分の興味をひいた合宿でしたが、その楽しい(?) 実情を記すには紙面が足りませんので各学年での思い 出を一言で紹介します。

1年次の夏合宿は山形県の赤湯温泉でした。中日(なかび)の夜中(早朝?)に同期のS君が逃げていなくなって大騒ぎになりました(S君はその後退部しました)。

2年次の夏合宿は和歌山県の串本でした。屋外での 練習時に幹部の先輩から腹蹴りをごっつあんになり、 しばらく倒れていたところ、「立て!立て!」と蹴られ るのですが、全く痛みを感じないという不思議な経験 をしました。横になっているのが本当に気持ち良かっ たです。

3年次の夏合宿は大島でした。幹部の先輩は、2年前の脱走事件を教訓に逃げられないところを選んだのでは、と勝手に想像しました。

4年次の夏合宿は長野県飯山市の戸狩温泉スキー場を選びました。各学年2名ずつという少しさびしい合宿でしたが、後々、22代の曽根君が「あの合宿が自分の自信になりました」と言ってくれた時は、幹部とし

ての役割を果たせたようで嬉しかったのを覚えています。昨年、曽根君は亡くなりました。非常に残念でたまりません。この場を借りて、心から彼のご冥福をお祈りいたします。

それぞれの合宿地では、現地在住の OB の先輩方に 大変お世話になりました。私の住む石川県では、昨年 3月に北陸新幹線が開業し、現在、金沢市には大変多 くの観光客の方に来ていただいています。現役の皆さ んには、ぜひ夏合宿で金沢を選んでもらい、自分にも お世話をさせてもらえればと思っています。

最後になりますが、5年前に4代の村井先輩のお声掛けで北陸支部主催のOB緑拳会懇親会を富山市で開催したことをきっかけに、長い間ご無沙汰していた先輩方との交流が復活しました。同期の下村とは自分が東京に出張した際、時々食事をしています。自分が卒業して以降、石川県出身のOBがいないようですが、地元だけに限らず、専大少林寺の看板を背負っている者同士、今後も交流を続けていければと思います。

#### 創部50周年を迎えて

第田洋之

合掌

この度、専修大学少林寺拳 法部創部 50 周年を迎えたこ とを心よりお喜び申し上げま す。

記念式典開催にあたり御 尽力くださった実行委員の 方々、現役学生諸君に厚く御 礼申し上げます。



私が第24代として入部したのが昭和63年、翌年の昭和64年は1月7日までで、それ以降は平成となりました。

なので昭和最後の代ということになります。

私が入部した当時、部室の壁には初代から続く部員 の名札と額に入れられた各代の集合写真が掛かってい ました。 天井付近から始まる各代の部員たちの名前 は、壁のスペースにびっしりと並び、自分の代になる



とずいぶん壁の下の方になり、その数の多さと歴史の 重みに新入部員の私は圧倒されたのを覚えています。

もっとも心に残っているのは2年生の時の長野県戸 狩温泉での夏合宿、最終日の千本突き・千本蹴り、そ してその後の好物支給です。

あれ程全身のエネルギーを燃やし吐き出し、果てた 経験はそれ以後ありません。

今同じことをすればまあ命がもたないことでしょう。 私の代は私を含めて5名入部し、一人として欠けることなく全員が無事に四年間を全うして卒業できました。 上の代は4年、3年、2年生と各代に2名しかおらず、 このまま部員減少が続くと部の存続が危ぶまれるという状態でした。

少林寺に限らず、武道系の運動部は全般的に不人気な時代だったように思います。

それが私が卒業して25年、後輩たちの頑張りによって今もなお部が存続し、また目覚ましい成績を残していることに深く感謝を申し上げたいと思います。

そして専修大学少林寺拳法部が今後もますます盛え、 部員たちがいつまでも誇らしく拠り所となることをお 祈りいたします。

結手

# 創部50周年、誠におめでとうございます

[39代]

# 村松慶太

合堂

この度は専修大学体育会少林寺拳法部創部 50 周年、 誠におめでとうございます。

これも、OB会長や諸先輩方を始め、監督、各友好大学、 並びに、少林寺拳法に関する全ての皆様方の厚いご支 援と、現役の努力の賜物だと思っております。

さて、今回、創部 50 周年記念の節目に寄稿を、ということで、恥ずかしながら思い出等を綴らさせて頂きます

専修大学少林寺拳法を通して得たもの、といえば

①思い出 ②良い先輩後輩同期の関係 ③教訓であります。

①は言うに及ばす、大学入学から、卒業まで、第一体育館での練習や、大会、本山合宿、新入生歓迎式、幹部交代式、道院へ通ったこと、他大学との交流、私の好きな漫画(ガンバフライハイ、オッス少林寺)作者が先輩にいたこと、第一体育館隣の日本拳法部、ボクシング部に練習に伺ったこと(当時ボクシング部には現世界チャンピオンの山中慎介さんもおりました)など、大変濃くも楽しい4年間を過ごさせて頂きました。



思い出を一つ一つ具体的に書いていくと、紙面が足 りなくなってしまいますので、敢えて一つあげるとし たら、やはり、私が少林寺拳法部に入部したことを挙 げさせて頂きます。

当時2年次の児玉先輩(38代主将)が新入生勧誘の 時に声をかけて下さり、入部のきっかけを与えて下さっ たことには感謝してもし足りません。

②は、良い先輩、後輩、同期に恵まれたことであり ます。卒業から10年がたちましたが、先日行われた夏 合宿に、当時私が4年次のときに演武の相手であった 鈴木健太拳士(41代副将)と参加することができました。 お互い衰えた体力ながら、昔を思い出しながら突き蹴 りを、現役に混ざりながら練習させて頂き、当時と「全 く一変わらないやりとりを楽しみつつ、部活を共にし た先輩後輩として、今も関係を続けることができてい ることを、大変嬉しく思いました。



同期や、先輩、後輩とも、同様によい人間関係を構 築できたことが、非常に素晴らしい財産であると思っ ています。

③教訓ですが、少林寺拳法の言葉で一番好きなのは 「半ばは己の幸せを、半ばは他人の幸せを」であります。 自己確立と奉仕貢献の精神は、社会生活の中で何より も大切にするべき事だと思います。そういった本質(教 訓)を大学の若い時代に得られたことが大変価値ある ことだったと思います。

最後に、何よりも今、専修大学少林寺拳法部で活動 している現役部員が、部活動を楽しみ、自分達で4年 間を作り上げていく「場」として、専修大学少林寺拳 法が、昔も今も、変わらず続いていくことを期待して おります。

また、ご多忙中にも関わらず、第一線で現役を指導 されている河原井監督、今回寄稿の場を与えて下さっ た50周年実行委員長である、樋口先輩に感謝をしつつ、 専修大学体育会少林寺拳法部の益々の発展を祈念いた しまして、結びとさせて頂きます。

結手

#### 益々のご発展を お祈り申し上げます

[41代]

#### 村松有里 (旧姓山本)

この度は、専修大学体育会少林寺拳法部創部 50 周年 誠におめでとうございます。この偉大な歴史の一端に 参加できた事に慶び申し上げると共に、多くの喜びと 経験を与えてくださった部と皆様方の益々のご発展を お祈り申し上げます。

私は新入生勧誘の時に先輩方に声をかけて頂き、護 身術への興味と、先輩方の熱心な勧誘によって入部を 決心しました。

『数は力』とは、夫であり当時声をかけてくれた39 代村松先輩の当時からの口癖であります。酔うと同じ 話を繰り返すタイプで、私の代が入部する前は参加者 3名で練習を開始する日もあったとよく話してくれま した。しかしその先輩方による熱心な勧誘と指導のお かげで私の代は新入部員11名と同期にとても恵まれま した。その後も人数に大きな波があるものの徐々に現 役世代が増え、まさに部としての力が増しているもの と思います。

最近は可愛い子供たちに囲まれ、日々の成長に喜び を感じたり頭を悩ませたりする中で、50年という長い 年月に思いを馳せる日もあります。

とりあえずハンマー投げの室伏選手のお父さんのよ うな元気な老人を目指そうと、日々重くなってゆく子 供たちをダンベル代わりに身体を鍛えてみたり、高校 時代に嗜んでいた槍投げを今年度から趣味として再開 したりしています。7月の大会で腰を少し痛めて近所 の鍼灸接骨院を受診した際、なんと市内の道院長が施 術して下さったという驚きの出会いもありました。

昨年は TOKIO 結成 20 年、今年は専大少林寺拳法部 と笑点 50 周年、さらに来年は少林寺拳法創始 70 周年。 大きな節目に感心するばかりですが、農業・工業・ 土木・水産・石工と多方面に明るくなってゆくアイド



ルグループの姿を見ながら『何かを始めるのは今日か らでも遅くはない』と自分を励まし精進してゆきたい と思っております。今後も家族共々御指導、御鞭撻の 程よろしくお願い申し上げます。

結手

#### 創部50周年を迎えて

[42代]

# 長島亮太

この度は、専修大学体育会少林寺拳法部の創立50周 年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。50 年の長きにわたって活動を継続してこられたことは、 現役部員はもとより、諸先輩方、また関係者の皆様の 並々ならぬご尽力の賜物であり、創部より今に至るま で部に関わってこられた皆様におかれましては、この 創部50周年記念式典を無事に迎えられることは格別の 思いであろうとご推察いたします。私が入部した平成 18年に40周年記念式典が催され、当時はその重みも 理解できずにただその場に居合わせていただけでした。 それから10年の時がたち、別の視点でこの時を迎えて みると当時では感じることのできなかった感情が芽生 えてきます。

私が 少林寺拳法に出会ったのは高校の時です。部活 見学で見た先輩方の演武の虜になり、当時格闘技に興 味を持っていた私は他の部に目もくれず、少林寺拳法 部に入部しました。大学入学後、オリエンテーション で少林寺拳法部の看板を見つけ、立ち寄りました。今 だから言えることですが、高校時代の厳しい練習に比 べれば、女子部員もいる練習は、さほどきつくはない だろうという甘い考えで部室のドアを叩いたように記 憶しています。しかしいざ入部していると、実態は想 像とは程遠いものでした。創部当初を知る先輩方の練 習と比べるのは大変おこがましいことではありますが、 体育館での終わりの見えない突き蹴りの練習、専修大 学ならではの生田緑地を全力で走り抜ける強化練習、 限界まで負荷を加えての筋力トレーニング等のつらい 練習の数々。今となっては忘れられない思い出です。 (部室の窓から泥棒が入り、大事なビデオカメラや、吉 田君の音楽プレーヤー等が盗まれたこともありました。 この時は大変ご迷惑をおかけしました。)同じ時間を共 に過ごした諸先輩方、後輩の皆さん、そして同期の吉 田君、菅野さん、密本さん(今の妻です)、皆さんのお



かげで充実した学生生活となりました。

本来であれば私も出席したかったのですが、東日本 大震災により被災した地域の復興に関する業務に携わ るため、予定が立てられずやむなく福島県からこの文 章をしたためております。私事ではありますが、3年 ほど前の当方の結婚式では星野会長にお言葉をいただ き、また、児玉先輩、益満先輩には組演武を披露して いただきました。本当にありがとうございました。現 在は居を構える千葉、妻と昨年生まれた双子の娘の元 を離れ寮暮らしをしております。いつか娘の姉妹での 組演武でも見られたらいいなぁと思う今日この頃です。

最後になりますが、星野会長、河原井監督はじめ、 役員の皆様が一丸となって現役部員を支え、60年、70 年と益々ご活躍、ご発展されますように願っておりま す。また、現役部員の皆さん、影ながら応援しています。 頑張ってください!



高校の先輩でもあります41代鈴木先輩のおめでたい日の一コマです。 同期4人と監督(右から二人目が本人)

# 創部50周年誠におめでとうございます

井上 崇

私は高校から部活動で少林寺拳法部を始め、そこでの練習は大学の演武中心の練習とは違い技練習が中心でした。そのため大学の練習に初めて参加した時に技の練習時間が極端に短く演武練習の時間が長いことに驚いたことを今でも覚えています。また、高校では部活の時は必ず監督がいらっしゃいましたが、大学の練習では監督が来れる日が少なく技の練習もすべて自分たちでやっていると知り環境が違えばここまで変わるのかと衝撃を受けました。

全てが違うそんな環境からのスタートでした。しかし良い同期・先輩・後輩に恵まれ私は次第に専修大学の少林寺拳法部に所属できてよかったと思えるようになりました。というのも私は1年浪人をしており、希望の大学に進学することができませんでした。そこで私は「なんだ専修大学か」と内心思っていました。しかし、少林寺拳法部に入り、同期・先輩・後輩に恵まれ専修大学でなければこの素晴らしい環境・人とは出会えなかったと思います。当時はかなり生意気な新入生だったと思います、それでも正面から接してくれた先輩方には感謝しかありません。自分が思っていたこ

とと違うことがまっている。しかも自分の考え方次第ではその環境はプラスになる。専修大学少林寺拳法部のおかげで私は自分自身の考え方を改めることができ、より成長できたと思っています。

学生大会での成績は人様にいえるようなものではあ りませんでした。しかし私の中では誇れる演武があり ます。それは3年生の時の同期6人で行った団体演武。 そして4年生の時に同期の山田・橋口と組んだ三人掛 けです。1・2年生の頃は演武というものがどういうも のか分からず、なかなかうまくできず歯がゆい思いを しました。3年生の時に団体を同期メンバーの6人だ けでやろうと提案がありました。これは恥ずかしい演 武はできないと思い今まで以上に練習し、ミーティン グを行いました。結果は入賞の一歩手前でしたが、今 までにないできでとても感動したのを覚えています。4 年生の時の三人掛けも練習が休みの日でも時間を見つ けて3人で話し合い練習を行いました。お互いの動き が合うまで何度も何度も練習にあけくれました。3人 とも最後の大会ということもあり今までにないくらい 真剣に練習をしましたが、結果は予選落ち。上には上 がいると痛感したと共に何故1年生のときからもっと 真剣にやらなかったのかと後悔しました。私は専修大 学少林寺拳法部からたくさんの事を学びました。仲間 の事、物事に取り組む姿勢・考え方どれも今でも役に 立っています。

自分の代では輝かしい功績は残せませんでした。しかし練習方法や方向性など少しでも私たちの代で培った何かを残せたと思っています。実際今年の現役部員は神奈川県大会において初段・二段・男女・女子有段で輝かしい功績を残してくれました。専修大学少林寺拳法部の未来はとても明るいそう思っています。

最後になりましたが、この度は専修大学体育会少林 寺拳法部50周年誠におめでとうございます。半世紀も 続く部活に所属でき少しでも貢献できていることを誇 りに思います。



同期と武道館で(左から二人目が本人)

#### 創部50周年を迎えて

[47代]

## 居村沙紀

専修大学体育会少林寺拳法部創部 50 周年の記念すべき節目に、この様な寄稿の機会を頂き、大変光栄に思います。自分は貴重な経験の数々、多くの人との繋がりを少林寺拳法部から頂きました。先輩、後輩、少林寺拳法を通じて知り合った他大学の友人とは、今も連絡を取り合い、食事に行ったりする仲が続いています。大学を卒業し1年半程が経ちましたが、少林寺拳法部での4年間は自分にとって何にも代え難い宝物となっています。

自分が少林寺拳法部に入部したのは、高校で所属し ていた空手部でお世話になった、46代吉住先輩、米山 先輩に声をかけて頂いたことがきっかけでした。迫力 ある練習や演武を見学させて頂き、素直に"やってみ たい"と強く思い、入部を決意しました。しかし、当 時の少林寺拳法部には女子部員が居ませんでした。足 手まといにならない様にと、日々練習についていくの に必死でした。それでも受け入れて下さった監督、先 輩方、気にかけて下さった OBOG 先輩方には、感謝し てもし切れません。初めて参加した夏合宿で行った暑 い浜辺での体力作り・体育館での技術練習、初出場し た大会の緊張感など、今でも鮮明に思い出すことがで きます。残念なことに、1年生の間に2人居た同期は 部を去ってしまいました。寂しさや心細さはありまし たが、監督、先輩方に本当に良くして頂き、間もなく 後輩もでき、3年生になると女子部員や大勢の後輩が 入部をしてくれ、相変わらず修練は厳しくも楽しく、 その後も継続することができました。

先輩方が引退された後、主将を務めさせて頂くこととなりました。任せて頂けたという大きな喜びと同時に、主将という重圧、同期の居ない中、自ら前へ出る様な性格ではない自分に務まるのかと、当時の正直な気持ちとしては、大きな不安も抱いていました。銀のラインが入った主将の腕章を、46代主将の橋口先輩から引き継いだ時、左腕がそれは重く感じたことを覚えています。至らない点も多い主将だったと思いますが、それでもついてきてくれた後輩たちには本当に感謝しています。

4年間を振り返ると、壁に直面することの方が多かったかもしれません。それでも引退するまで続けること



ができたのは、監督、諸先輩方、後輩たちを始めとする多くの方々に支えて頂いたからです。ご迷惑も多々お掛けしましたが、今でもお世話になった方々への感謝の思いで一杯です。この場をお借りして、改めて心から御礼申し上げます。

入部当初自分だけだった女子部員も、現在は男子部員に負けない程の人数になり、大変嬉しく思っています。今後も男女共に少林寺拳法部の仲間が増えてくれることを願います。初代水野先輩を始め、諸先輩方が創り上げてきてくださり、自分にも大きなものを与えてくれた専修大学少林寺拳法部。これからも、かけがえのない経験や人との繋がりを与えてくれる場として在り続けて欲しいと、心から願っております。



# 創部50周年を迎えられることを 心より嬉しく思います

[48代]

# 東寺雄輝

「腹が減ったから次に勧誘されたところに昼食を奢っ てもらおう。」

入学後にできた友人たちとそう言いながら出会った のが少林寺拳法部でした。

数々の勧誘を押しのけながら正門前を歩いていたところに先輩から声をかけていただきました。少林寺拳法には興味はありませんでしたが、コンビニで昼食を買ってきてくれるとのことだったので、待っている間に自分たちはブースで話を聞くこととなりました。そこでは自分たちと先輩方が一対一で話す形となり、自分のお相手は樋口先輩でした。先の勧誘でアメフト部の大男数人に八方を囲まれたこともあり、「どんな手を使ってくるのだろう」と内心冷や冷やしていましたが予想に反して物腰柔らかで、勧誘の話はほとんどせずに終始自分の地元の北海道函館の話題でした。まさに北風と太陽で、自分は少林寺拳法部に心を魅かれました。

日を改めて見学に行くと、少人数ながらも真剣かつ 和気藹々と練習する姿があり、先輩方の人柄もあって 自分はその日に入部を決めました。



自分が入部した時点での代は現役が少なく、その年の終わりには3年次6名、2年次・1年次ともに1名、総部員数8名と、休廃部の文字がチラつくほどでした。しかし、諸先輩方のお力も大いにお借りして、次年度は十三人もの新入部員を迎えることができました。そして、記念すべき50代目も迎え、続き51代と途切れることなく我が部の一員とできたことを安堵するばかりです。特にこの49代から51代は優秀で勤勉な後輩が集ったように思います。自ら学び、互いに高め、そして仲良く。このような後輩たちに恵まれ、反面羨ましく、そして誇らしくありました。

最後まで未熟者の自分ではありましたが、様々な人から手を借りながらも専修大学体育会少林寺拳法部第48代主将を務めさせていただいたことに感謝を尽くせません。創部50周年を迎えられることを心より嬉しく

思います。

専修大学少林寺拳法部の今後益々の発展と隆盛を祈 念すると共に、先輩方・後輩達・他大学他支部の方々 へこの場を借りて感謝を申し上げます。



バイト時代の仲間と(右端が本人)

































































# 追悼難波良文前監督

#### 2014年7月6日永眠 享年65歳

専修大学体育会少林寺拳法部の第3代主将を務めた 難波良文前監督は、2014年7月、6年間の闘病の末、 お亡くなりになりました。

「ニュース専修」「専大スポーツ」(2016年8月15日号)では、広島東洋カープの黒田投手が日米通算200勝を達成した特集が組まれていますが、奇しくも同じ号の8面では、難波前監督が日髙義博理事長から感謝状を贈られたニュースが綴られています。



黒田投手は「専修大学で過ごした貴重な4年間が僕を大きく成長させてくれました」と述べていますが、難波前監督も、主将として少林寺に打ち込んだ4年間を、かけがえのない経験として私たちに伝えてくれました。卒業してからも、監督として公私にわたって現役指導に尽くし、その功績は創部50周年を迎えた今も、これからも、専大少林寺に受け継がれていくものと、ここに難波前監督への感謝の意を捧げ、ご冥福をお祈りいたします。

専修大学体育会少林寺拳法部 OB緑拳会一同 現役部員一同









# 寄稿文より

#### 合堂

われら専大少林寺

「10年ひと昔」と云う言葉があります。我が専大少林寺の10周年記念式典が盛大に催されひとつの節ができたところで、私も専大少林寺との出会いについて振り返ってみました。

少林寺拳法本山の所在地多度津町は私の郷里善通寺市と隣接し、少林寺拳法の言葉は早くから耳にしていました。高校進学を期に、まずどうしても喧嘩に強くなりたいと願った私は少林寺で鍛えようと、それまで他の運動部で長続きせず根気のなさを嘆いていた両親からどうせ三日坊主だからと反対されながら、これからの受験戦争に打勝つためには心身共に強くなければなどと力説し、我ながら上手に納得させたものです。それからと云うもの周囲の期待を裏切って三日坊主どころか高校の3年間一日も欠かさず、善通寺から多度津への道を雨の日も風の日も通ったものでした。その甲斐があってか2年生の時に二段に昇格し、その頃では喧嘩どころか武道そのものに興味を持ち、大学では別の武道を身につけてみようと心に決めていました。

昭和42年の春、専修大学へ進学が決まりその報告に総本山少林寺へ出かけた時、偶然専大 少林寺の発起人である先輩方と事務所で一緒になったのです。若先生(中野益臣氏)や事務 の人に「今度専修大学に入学する難波だが面倒みてやってくれ」と自分を紹介され、その一 言で主体性のなかった私は専大少林寺の一員となることが決まったのです。

思えば縁があったと云うのでしょうか、それも良縁だったようでおかげでそれからの4年間は文字通り貴重なものでした。私が入部した時は発足3年目、部員数も60名位で、同好会としてはまだ幼く一見貧弱そうですが、発足時の内に秘めた情熱があふれ魅力ある組織でした。とはいえ最初は自分自身の技術の上達と仲間との付き合いに熱を入れ、クラブ全体を深く考える事など気がつきませんでした。好き勝手に物事を判断し自己流に行動し、己れ一人の力で世間を渡っているつもりでいたその頃の事は冷汗のでる思いがします。

その後本格的にクラブの事を考えだしたのはやはり幹部になり私が主将を任されてからで す。専大少林寺がまるで生き物であるかに感じられ密接に関り合うにつれ、同好会から体育

会へと昇格し組織の内容も初代からの伝統を軸に少しずつ進歩をみせてきました。専大少林寺に於いて人間関係の尊さ、けじめ、自覚等多くの事を学ぶとともに、部員であることの自覚とプライドを守り、それを忘れずに常に前向きに歩む事を義務とするよう悟れた気がします。

総本山の事務所で先輩に紹介されてから今年で丁度10年、部創立10周年も終え「ひと昔」を乗り越えた今、もう一度初心に戻り専大少林寺の新しい発展を目指し進みたいと思います。専大少林寺拳法部が益々成長し、そのすばらしいクラブで鍛えられ、より良い影響を受けた若者が社会へ出て立派に貢献し義務を果たすよう、私は微力ながら監督として専大少林寺とますます深く関わり合っていける事を誇りとし、今後とも精進していきます。

皆様の暖かいご支援を心からお願い致します。







# - 専大少林寺の\_ 「創設期

昭和38年発行 「専修大学体育会50年史·人国記」より

#### 同好会には幸先のよいスタート

本学の少林寺拳法部の生みの親である水野好夫(昭 44 経)が入学したのは昭和 40 年である。水野は高校 時代の同級生である茅野透(昭和41中退・経)とと もに拳法同好会設立のため、実兄の水野英夫が在籍す る明治大学少林寺拳法部へ練習に通った。水野は翌 41年同好会創立をめざして40年12月に当時の課外 体育課へ創立を申請、41年5月6日に許可され、さっ そく生田キャンパスの学生会館食堂に会員募集の掲示 をした。この掲示をみて、すでに道院(町道場)で拳 法の修練をしていた岩井次雄(商2)が、同じ本学松 戸高校出身の待山信二(経2)、長岡一夫(商2)、横 川政雄(同)、吉川和雄(同)とともに入会、ほかに 榊英一(同)、角田孝次(同)、宮内研一(同)も参加 して新入生の勧誘に努めた結果、この年創立と同時に 2年生50名、1年生40名の計90名もが、わずか1週 間で入会するという盛況であった。

ここに本学の少林寺拳法同好会は部長に福永忠一文 学部長、監督に明大から水野英夫を迎え、主将・水野

好夫、主務・榊英一らを幹部として発足した。当時、 水野好夫は1級であったが、一人では指導しきれない ので90名の会員全部とともに、明大和泉校舎の拳法 部へ当初1週間、毎日午後4時30分から7時まで練 習に通った。ところが、あまりにもハードトレーニン グのため、わずか1日の練習で30名が退部していった。 さらに退部者がふえ、1年後には30名しか残らなかっ たという。しかし、その間、学校側では入会者が多い ことや会員の礼儀作法が正しいのに好感をもって、設 立と同時に部室をきめ、練習場も貸してくれた。これ には水野と榊が1日交替で課外体育課の部屋を掃除す るなどの献身ぶりに、当時の中江純栓課外体育課長の 応援があったと水野は述懐する。異例のことであった のだろう。身軽に練習できることから、44年頃まで は現第一体育館が健設される前の敷地や五号館内、一 号館屋上、レスリング場や柔道場、生田緑地、神社境 内などを転々として荒稽古をつづけた。そして、41 年7月には江の島へ親睦旅行、8月に長野県志賀高原 の竜王で初合宿も楽しんだ。

当時の学生拳士たちの檜舞台は、関東学生少林寺拳 法連盟の主催する「日本少林寺拳法関東学生大会」で あった。この連盟に加入するには、各大学とも1年間 の練習実績が必要であった。ところが本学拳法同好会 の熱心な練習ぶりに感銘をうけた連盟委員長・法政大 学新井英晴の特別の配慮から、41年10月9日に代々 木第二体育館で行われた第5回関東学生大会の第1回 関東学生新人大会(各大学の1、2年生が対象)に準 加盟校の待遇で特別に出場を許されたのである。同 好会としては幸先のよいスタートがつづいたといえよ う。このときの出場者は【団体乱捕り】①山崎輝夫(商 1)見習い(無級)、②城所透(経1)同、③高橋邦彦 (商1)同、④角田孝次(商2)同、⑤黒河内英彬(経 2)同、⑥岩井次雄(商2)一級、⑦水野好夫(経2) 初段(准拳士)、【自由演武】水野好夫、松浦正行(経1) 准拳士、[同]岩井次雄、河又利夫(法2)一級であっ たが、この時の成績は出場20校中団体乱捕りは3位、 自由演武は予選までであった。こうして同好会は幸運 にも、創立の年にはやくも檜舞台へ上がったのであっ た。

このような発足早々に部室を貸与され、学生大会の 檜舞台にも立った幸運な本学少林寺拳法同好会では あったが、その激しい修練についていけない学生も 多々あった。第1回の会員募集で集まった学生90名 は、練習第1日で30名が退会し、その後1年間に三 分の一の30名に減っていた。しかし、翌42年4月の 第2年目の新人募集は、キャンパスで大々的に行った ので1年生30名が入会してきた。新進の拳法同好会が、 なぜこんなに学生たちをひきつけたのか、水野はこう 分析する。「当時すでに珍しくなっていた制服制帽で 体育会のバッジをつけ、規律ある行動と正しい礼儀作 法が、あの頃の学生気質に魅力となったのではないか。 大学当時にも、これらが好印象となって迎えられたた め破格の待遇をうけたものと思う」。

#### 総本山少林寺で感激の初合宿

これより前、42年3月に同好会は香川県多度津の 総本山少林寺で、感激の初合宿を行ったが、ここで類 似の武術と区別するためその歴史を簡略に説明した い。少林寺拳法の源流は、約1400年前に正統仏教を 伝えるためインドから中国に渡来し、河南省の嵩山少 林寺に住した菩提達磨によるとされている。達磨は、 釈尊の教えによって自己確立の実践を説き、その手段 として、霊肉一如の実在である人間の本体を極め、霊 の住家である肉体を調御して病まず屈せずの金剛身を 練成するため、古代インドに源を発し仏教に取り入 れられて特殊な発達をとげていたインド拳法・天竺 那羅之埆を座禅行とともに修行させた。禅門の行とし て生まれたこの拳法は、少林寺が兵火にあって四散し た寺僧が、土匪や官匪などの重圧に苦しむ民衆に、生 命、財産を守るために伝え、のちには武芸となって広 がり、宋代から清代にかけて全盛期を迎えた。しかし、 清朝末期に義和団の敗北で正式の指導者と道場を一挙 に失って、中国の拳法は時代の表層から消えてしまっ た。昭和の初期、中国に渡った岡山の人、宗道臣は、 地下に潜行していた北少林義和門拳二十代の師家、文



昭和41年8月長野県竜王での初合宿の練習風景



昭和42年3月総本山少林寺初合宿の際の打ち上げ記念写真(中央が宗道臣開祖)

太宗老師に師事、9年の修 行ののち嵩山少林寺で允可

をうけ、第二十一第師家を継承した。昭和20年8月 に満州で敗戦を迎えた宗道臣師家は翌年、混乱する祖 国へ帰ってきた。平和日本再建のため、剛健な肉体と 不屈の精神力をもつ青少年育成をめざし、昭和22年 10月、香川県多度津町に小堂を建てて日本正統北派 少林寺拳法を創立、わが国少林寺拳法の総本山として 発足、現在では立派な練成道場も建てられ全国三百万 拳士のメッカとなっている。

その後、少林寺拳法は新しいスポーツとして各大学 に広く普及し、昭和37年に関東学生、翌38年には関 西学生の第1回大会が開かれ、つづいて全国各地に学 生連盟が結成されて地区大会も盛んになり、40年に 行われた「第1回全日本学生大会」には全国276大学 が参加するという盛況ぶりであった。この試合方法(競 技内容)には、団体乱捕り、個人乱取り、自由演武が あり、新人戦にはこれに団体演武と規定演武の2種目 が加わるが、大別して乱取りと演武にわかれる。乱取 りは、守主功従を主体とする少林寺拳法が、防御から 反撃のために動く相手のなかに、有効なダメージを与 えるためにとられる方法で、防具にはグローブ12オ ンスとグラスファイバーの胴が使用される。また演武 は、この拳法の本質である守ることを主体とした三法 二十五系六百数十におよぶ膨大な技法によって構成さ れたもので、剛法・柔法・整法の技を、日頃の基本と なるべき技の積み重ねにより演武者の創意で一つの形 にまとめてつくりあげるものである。

#### 関東学生大会に初出場

42年6月11日、代々木第二体育館で行われた「第 6回日本少林寺拳法関東学生大会」に同好会も初出場 した。このときの出場者は団体乱捕りに、①黒河内英 彬(経3)一級、②角田孝次(商3)同、③野山正巳(同) 同、④長岡一夫(同)同、⑤城所透(経2)二級、⑥ 増木公夫(商2)同、⑦横川政雄(商3)一級でベス ト8に入り、全日本大会への出場12校に入るという 好成績をおさめた。また、個人演武には、①岩井次雄 (商3) 初段、難波良文(営1)二段、②水野好夫(経 3) 初段、河又利夫(法3) 同の二組が出場した。つ づいて前年に次ぎ二度目の出場となった「第2回関東 学生新人大会」(10月9日、日本武道館)では、団体 乱捕りに、①安沢憲一(文2)初段、②増木公夫(前出) 同、③荒川和夫(商2)一級、④山崎幸雄(商2)初段、

⑤城所透(前出)同、⑥仲西哲男(経2)一級、⑦白 石勇(商2)同が出場して3位となり、自由演武の難 波良文(前出)、斉藤悦夫(商2)一級は5位、また 団体演武に出場した12名は6位に入った。翌11月3 日には「第3回全日本学生少林寺拳法大会」に初出場 のため愛知県体育館に遠征したが、この全日本大会で 団体乱捕りに初出場の栄光を担ったのは、①主将・水 野好夫、②角田孝次、③黒河内英彬、④野山正巳、⑤ 城所透、⑥増木公英、⑦安沢憲一。いずれも本学少林 寺拳法同好会の猛者で、試合結果はベスト8であった が、全国学生拳士の間に"専大強し"を広く認めさせ たものであった。

本学体育会では毎年、その年に優秀な成績や業績を のこした体育部に対し、団体賞や個人賞を授与して表 彰してきたが、この年は少林寺拳法同好会に特別賞を 授けて、その功をねぎらっている。

創設2年目を迎えた翌43年も同好会にとって躍進 の年であった。4月には大々的な勧誘によって1年生 40 名が入会したが、たゆまぬ猛練習にやはり脱落者 があいついだ。それにも屈せず会員たちは黙々と精進 をつづけ6月1日、日本武道館で行われた「第7回関

東学生大会」では、個人乱捕りで角田孝次が3位、つ づいて秋の代々木第二体育館での「第3回関東学生新 人大会」では団体乱捕りでベスト8に入っている。気 をよくした選手たちは、余勢をかって11月3日、日 本武道館での「第4回全日本学生大会」に出場、全員 敢闘したので、ついに角田孝次が個人乱捕りに優勝す るとともに総合(乱捕りと演武)でも3位に入った。 同好会は、わずか発足3年目にして、はやくも初優勝 を飾り、再び学生拳士の間で専大の名声を高めた。体 育会では、少林寺拳法同好会の業績を賛えるため、主 将・水野と角田に個人特別賞を贈った。水野には同好 会設立の功労者として、角田には初優勝を祝ったもの であった。

#### 川島総長が連盟総裁に就任

この頃、同好会にとって大きな朗報がもたらされた。 当時、自民党副総裁であり、本学の理事長・名誉総長・ 総長であった故・川島正次郎が、社団法人・日本少林 寺拳法連盟の総裁に就任したことであった。すでに同 好会は同連盟に加入していたが、川島総長の連盟総裁 就任要請の動きが有ることを知った同好会の水野主

私は哲学専攻なので心が動き、主将の水野君と話し 合ったが、酒ものまず、いばらず、自分たち個人の修 養のために拳法を修練しているという水野君の態度が "これこそ、ほんとうの学生"と気にいった。拳法こ そ人間修養の体育であり、一部の学生のようにスポー ツをするために学校へきているようなものではないと 感じた。私は部員をふやさなくてもよいから、よくま とまって練習に励むように論し、指導方針として、① 運動をするために学校へきているのではなく、どこま でも大学生が修養のために運動をするということを忘 れるな、②武とはホコをとどめるもの。武は使わない のが理想である。拳法を学ぶものは絶対にけんかをし てはいけない、という二つを強調して部長をおひきう けした」。藤野部長はそれ以来、ずっと今日まで学生 拳士たちを見守ってきた。 かげで少林寺拳法部は育ってきた」と一様に深い感謝 の言葉を述べるが、なかでも創設当時の中江課外体育 課長からうけた厚遇には目をうるませる。ストイック なまでに、まじめで礼儀正しい拳法同好会の学生が中 江課長に好感を与えたのか、創設日ならずして部室を 貸与され、練習場所もやりくりしてもらったことが、 このOBたちにはいまも強い感懐として残っているよ うだ。どこまでも律儀な人々なのであろう。水野と角 田が体育会から個人特別賞をもらった思い出を記念と して翌年3月、同好会創立の功労者たちは学窓を巣 立っていった。

44年4月、最上級生となった増木公夫と城所透は、 それぞれ主将、主務となった。いわゆる2代目である。

拳法部のOBたちは「よい先生や先輩のご指導のお

将、岩井副将らは、本学総長が少林寺拳法連盟の総裁

になられることは、このうえない励みであると、一日

会員たちとともに川島総長を訪問、ぜひとも総裁に就

任していただくようお願いした。この訪問実現をとり

もったのが当時、体育会本部委員長であった瀬戸熊修

(昭和42経、現水泳部監督—千葉工大秘書課長兼広報

課長)である。これを機縁に昭和45年、部に昇格し

これよりさき42年、同好会の部長は福永忠一文学

部長から藤野登文学部教授にかわった。のちに文学部

長となり 58 年まで 17 年間も少林寺拳法部部長をつづ

けた藤野教授は、当時の模様をこう述懐する。「同好

会発足の翌42年に前部長の福永さんから部長交代を

請われた。そのとき福永さんは"少林寺拳法は単なる

武術ではない。人格養成の哲学でもある"と説かれた。

た際、瀬戸熊を相談役として迎えている。



日本少林寺拳法全日本学生大会の入場式(昭和47年11月、日本武道館)

3年間、ひたすら同好会の育成につとめ、個人乱捕り初

優勝や体育会特別賞に輝く第1期黄金時代を築いた水野主将、榊主務の初代の業績をどう発展させるかが、残された学生たちに課題として与えられた。しかし、2代目もよく頑張った。新入生30名を迎えたこの年5月25日に、日本武道館で行われた「第8回関東学生大会」では団体乱捕りでベスト8に入って全日本学生大会へ出場資格を得、8月北海道の洞爺湖温泉での合宿で技を磨いた選手たちは、10月10日、代々木第二体育館での「第4回関東学生新人大会」では団体演武で7位となり、つづいて11月10日に日本武道館で行われた「第5回全日本学生大会」でも団体乱捕りでベスト8に入った。体育会ではこの年にも増木に主将賞、城所に主務賞を与えて激励している。

#### 創立わずか5年で異例の部昇格

翌45年は、本学の学生拳士たちが待ち望んだ部昇 格が実現した記念すべき年であった。前年卒業後も コーチとして残った水野好夫(昭44経-水野自動車 整備販売会社)は、新しい主将・難波良文、主務・佐 久間雄一郎(営4)を助けて選手育成につとめた。し かし、この年から新入生は25名と減少の兆しがみえ はじめた。水野によると「高度経済成長による世相の 変化で、学生気質も変わってきたのではなかったかし ということだ。きびしい部活動にしばられるのをきら い、自由でのびのびとした学生時代をすごしたいとい う意識が強くなってきたものとみられ、とくにハード トレーニングの拳法は、その感が強いという。新入生 が減りはじめた反面、最上級生には難波良文、佐久間 雄一郎、中山進、小笠原高志、牧田恵裕らの優秀選手 が輩出した。これが第2期の黄金時代といわれ、この 年から全部日本武道館で行われるようになった関東学 生大会でベスト8、同新人戦ベスト16、全日本学生大 会でベスト8に入っている。

さて、この年5月に同好会は少林寺拳法部となった。同好会創設5年で部に昇格は異例のスピードぶりといわれる。これは対外試合成績の好調や熱心な修練もさることながら、会員たちが毎日のように学内や道路の清掃につとめたり、ときには災害地救済のための募金活動を行うなど、部活活動にも精をだしたことが、やはり学校当局から好ましく遠望されていたようだ。いずれにしてもOBたちが"黄金時代"と懐かしく振り返る記念すべき年となっている。

部昇格のユメは果たしたものの、新入生はさらに減 り46年には20名となった。この年に水野は監督とな り、主将・池岡政勝(文4)、主務・柏倉一夫(営4) とともに、ひたすら修練をつづけたが、この前年から ボクシング部員や空手部員との合同練習をはじめた。 拳法に他部の技を取り入れて新風を吹き込みたいとい う発案からであった。対外戦では依然として関東学生 大会ベスト8と好調を維持していた。47年には主将・ 菊池紀二 (営4)、主務・岩崎光教 (経4) にかわった が、春の新入生は15名にとどまった。この年に部員 の林幸治(文4)三段が、関東学生少林寺拳法連盟(加 盟 48 校) と全日本学生少林寺拳法連盟 (加盟 100 校) の委員長に就任した。ところが前年に中京地区学生大 会新人戦で学生一人が死亡するという事故があり、総 本山で乱捕り禁止の動きが出はじめた。これより前に も練習中や試合中に死亡事故はときたまあり、学生拳 法での乱捕りが問題となっていた。

少林寺拳法そのものが体力差、体格差で練習や試合を区別していないため、体力の大きく違う者同士では無理が生じ、ときとして事故の起こる可能性を内在している。総本山としては、拳法は技を磨くと同時に、あくまでも精神修養を目的とするものであることから死亡事故を黙過することができず、この年ついに、すべての学生大会での乱捕りを禁止すると呼びかけた。しかし、学生連盟では乱捕りのない拳法は武術としての修練にそぐわないと、総本山の呼びかけを無視して、各大会では依然として乱捕り部門をつづけることとし、本学拳法部も関東学生大会ではベスト8、全日本学生大会ベスト8に入っている。

#### ついに大会から乱捕り戦は消えた

ところが、翌48年には総本山の強硬命令により、 学生連盟はついに全大会での乱捕り戦をとりやめた。 各大学での競技内容を自由、規定、団体の3演武と し、ランクづけも、これまでの1位相当を最優秀で一つ、2位相当を優秀で三つ、あと8位までを入賞とい う形式に変えた。つまりほかの武道やスポーツのよう な技による順位争いではなく、形の優美さを審判の採 点によってきめる体操やダンスのような方式となった のである。しかし、各大学の拳法部では練習中の乱捕 りはつづけた。この年の本学拳法部は新たに主将・高 丸義比古(商4)、主務・田中正人(文4)となり、新 入生は前年同様に15名であった。ほかの部員も卒業 や離脱によって減少し、この時の部員総数は新入生を 含めて30名である。創設時は90名、多いときは百数十名にものぼった部員が、時の流れとはいえ五分の一に減ったのは、OBたちにとっては寂しい限りであったことであろう。このあと、さらに部員の数は減り、49年26名、50年20名、51年23名、52年15名、53年14名、54年12名、55年25名、56年20名、57年21名、58年21名と低迷をつづけている。

学生大会の花といわれる乱捕り試合がなくなったことは、拳法部員たちにとって大きな打撃となったが、本学拳法部はこのあとも現在まで大会には出場し、自由組演武、規定演武、団体演武、級拳士

演武の全種目に参加している。しかし、技を競う試合がなくなったため、大学当局に対して課外活動の成績を提出できなくなったことは、部として大きな痛手になっている。同時に、かつては各大会には必ずかけつけて声援を送っていたOBたちの足も、この頃からめっきり遠のいて出場選手を落胆させている。

しかも 49 年には本学少林寺拳法部にとって予期せ ぬ事態が発生した。この年 8 月に富山県黒部で行われ た合宿の際、参加した秋山英文(経 1)が第 1 日目の 朝のマラソンで倒れ、部員たちは手厚く介抱したが、 翌月、山梨県の実家で死去した。心不全であった。こ のため同部では、自主的に部活動を 3 ヶ月間停止する ことを申し合わせた。この服喪のあと 11 月の第 10 回 全日本学生大会に川端昭(商 4)と田近利夫(営 3) が自由組演武に出場したが、練習不足がたたって振る わず予選で敗退した。

つづいて翌50年10月の第14回関東新人大会ではベスト8に入って準決勝に残ったが決勝戦で惜敗、さらに11月の全日本学生大会は予選は通過したものの決勝進出はならなかった。

#### 女子が初めての大量入部

しかし、その後も前述のように部員の数は減り、往 年の花やかさはついに戻らなかったが、57年に思わ ぬことが起こった。この年の新入生勧誘の際、主将・ 表欣吾(商4)、主務・金子隆(法4)は女子にも呼び かけたところ、近藤美佐子(経1)、小峰純子(同)、 鈴木由美子(同)、清水真理子(商1)、佐藤佳代(文 1) の5名が入部を申し込んだ。女子は49年にも1名 入部したが、一人では練習できなかったので、熱意は あったが、やむなく退部させたことがあり、今回のよ うな5名という大量の応募は初めてのことで、男子ば かりの部としては大いに戸惑ったが、女子を除くこと は規約にもないので認めることにした。その後、清水 真理子は6月に退部したが、残る4名は熱心で激しい 修練に耐え、その年の関東学生大会女子の部の級拳士 の部に出場している。また58年6月には全員が初段 に挑戦して合格するまでに上達している。本学でもほ かの武道やスポーツ部における女子選手の活躍はめざ ましいが、彼女たちがなぜ男子学生でさえ脱落すると いう厳しい少林寺拳法部を選んだのか、水野はその心



昭和57年9月の合宿。福島県猪苗代町体育館での練習風景

境を「規律の正しさ、長幼 の序における節度の美しさ

が若いにもかかわらず彼女たちの魅力となったのでは ないか。それに体育を兼ねた護身術としても……」と 解釈している。

さらに58年4月にも女子1名が入部したため、同 拳法部では先の4名が3年生となる59年には、新た に女子部をつくる予定である。

このように、思わぬ女子学生の加入が花やかな彩りを添えはしたものの元気さがみられないようで、OBたちの気をもませている。しかし、54年から監督となった田近利夫(昭51営一公営社)は58年の主将・佐々木一彦(経4)、主務・石川良昭(文4)ら男子16名、女子5名の部員とともに、毎日午後4時30分から6時30分まで生田キャンパスの第一体育館で修練に励んでいる。これには56年から同部副部長となり、東大時代に少林寺拳法部に在籍して二段の竹内整一文学部助教授も参加して、学生とともに汗を流す姿もみられ、練習には乱捕りもあり、ハードなトレーニングではあるが、かつて全国の学生拳士たちから"少林寺拳法の専大"と賛えられた先輩の業績に恥じぬよう精進をつづけている。

#### 転換期に入った17年目

先に述べたように大会での乱捕り禁止が、精神修養 もさることながら武術修練をめざす学生たちに与えた

影響は大きい。しかし、これについて藤野部長は「私 としては乱捕りを禁止にしたことはよかったのではな いかと思っている。少林寺拳法は単なる武術ではなく 精神修養のためであるからだ。部員が減ったことでも 私は初めから人数をふやす必要はないといっている。 これから少林寺拳法を学ぶものは、技を磨くことだけ ではなく、精神修養という初心に戻るべきだ」という。 一方、現在の本学少林寺拳法部の田近利夫監督は「幸 い練習にまで乱捕りを禁止されていないので、あくま でもハードな練習で学生拳士を鍛えていきたい。私た ちの部には多くの先輩たちが築き上げてきた"強い拳 法"という専大カラーがある。大学生の拳法は演武の ような形だけでなく、技においても強くなければなら ないと思う。その意味で"強い専大の少林寺拳法"を 生かしていくとともに、人格修養もはかっていきたい」 と強調している。

17年前、水野らがその基礎をつくった専大少林寺拳法部は、51年10月、神田校舎に現役、OB、各体育部、他大学少林寺拳法部員らを招いて花やかに創設10周年記念パーティーを開いた。さらに56年10月には内輪ながら現役とOBで15周年を祝っている。あと3年、昭和61年には20周年を迎えることになる。現在の同部はひとつの転換期に入ったとみるむきもある。これからのリーダーたちにとって、創立の原点に戻って考えてみることも大切なのではないだろうか。

昭和58年11月30日発行「専修大学体育会50年史・人国記」より



鳳祭での演技(昭和52年11月)



#### 校章の由来

現在の校章は、大学令が交付された大正 7 年、昇格運動が起こったのを機に 図案を学生から募集、それをもとに大正 10 年 9 月に制定された。 大学の文字に学問を表わしペンと専大の頭文字の S を中央に、左右にひろげた"おおとり"の羽根は偉大な志をもって雄飛する俊秀な若者を意味している。 なおそれまでは明治 39 年に制定された、ヘルメス神の神杖の頭につく翼を"大学"に冠せ、下にペンをクロスさせたデザインのものが使われていた。



#### 部章

少林寺の「卍」をバックに、中央には「活人拳」の"拳"を配してある。縁どりの切れ込みは、専修の頭文字である「S」を表わしている。純銀製の主将バッジは、代々の主将に受け継がれている。



### 全学共通バッジ

学生から公募したデザインをもとに昭和 40 年 11 月に制 まされた

図案化したペン先を銀線で縁どり、スクール・カラーの縁 に、白地の部分にエビ茶のSを配している。





S E N S H N I V E R S I T Y



## 本でも屈指の伝統を持つ大学です。

#### 「歴史と沿革〕

明治という時代に、4人の青年が母国日本のためにア メリカへ留学しました。 4人の名は相馬永胤、田尻稲次 郎、目賀田種太郎、駒井重格。彼らは帰国後の1880 (明 治13) 年に経済科と法律科からなる「専修学校 | を創立 します。経済科は日本で初めての、また、法律科は法学 で初の高等教育機関でした。今の大学生とさほど変わら ぬ歳に海を渡り、帰国後、新しい時代を担う人材をひと りでも多く育てようと志した創立者たち。その熱い思い は今も脈々と受け継がれ、常に社会の要請にこたえる人 材を輩出し続けています。









田尻稲次郎

#### 留学先で生まれた 学校設立計画

戊辰戦争を経験した4人 の創設者たち、そんな彼ら が留学先のアメリカで出会っ



『男爵山川先生伝』より転載

たのは運命だったのでしょうか。やがて「日本法律会社」 が組織され、週に1度、法律の研究会や討論会を開く中、 相馬、目賀田をはじめニューヨーク近郊で学ぶ留学生た ちの親交はますます深まっていきました。こうした仲間と の活動から、帰国後は東京に法律学校を興し、自分た ちが得た知識を日本の青年に伝えるという夢が芽生えて いったのです。

#### ■1880年、専修学校創立 仮校舎からのスタート

帰国後、志を同じくする仲間とともに4人は創立準備 を着々と進め、1880 (明治13)年9月、「専修学校」が誕 生しました。予定していた校舎の改修が遅れ、仮校舎か らの出発でしたが、51名の学生を迎え盛大な開校式が 行われました。



#### 法律と経済を日本語で学べる学校

アメリカで近代国家の基盤となる市民社会の大切さを 目のあたりのした彼らは、日本にも法律と経済を学ぶ場 が必要だと痛感。法律や経済は外国語で講義するのが 当たり前だった当時、日本語で学べる学校の誕生はまさ に画期的でした。

#### 「赤門」の東大、 「黒門」の専修

入学者が急増し、1885 (明治18)年、専修学校は 現在の神田校舎に移転しま 之部上巻』第一九三号より転載



『風俗画報増刊 東京名所図会 神田区

す。校門が黒塗りだったことから、東京帝国大学(現・ 東京大学)の赤門に対して、専修学校は「黒門」と並び称 されるようになりました。

#### 東京に五大法律学校あり

専修学校に次いで開設さ れた東京法学校(現・法政 大学)、明治法律学校(現・ 明治大学)、東京専門学校 (現・早稲田大学)、英吉利



法律学校(現・中央大学)は「五大法律学校 | と呼ばれ、 連合討論会など活発な交流をはかっていました。

#### 勝海舟から激励の書がとどく

創立者のひとり、目賀田は勝海舟の三女逸子と結婚。 その縁で1890 (明治23)年の卒業式に勝海舟は自筆の

「律増甲乙之科以正澆俗礼崇升降之制以 極頽風」という書を贈り、卒業生を激励し ています。世の中には法律と道徳の両輪 が必要であるとし、法学生の使命の大き さを説いたこの書は、今も本学に大切に 保管されています。



#### ■1922年、大学昇格 震災からの復興

大学令が公布され、1922 (大正11)年に大学へと昇格 しました。しかし、その喜びもつかの間、翌年の関東大 震災で、専修大学はすべての校舎、施設を失いました。

救いは夏休み中で学生の被害がなかったこと。学生と校 友の協力により、復興は急ピッチで進められ、1928(昭 和3) 年には鉄筋コンクリートの神田校舎旧1号館も完成 しています。





「復刻版大正十二年関東大地震震害調査報告」第三巻より転載

#### 生田キャンパス、開設

敗戦の混乱の中、学生の 心の支えとなったのは戦火を 免れた校舎の姿でした。キャ ンパスの雰囲気は明るく、再 び学ぶ機会を得た学生たちが



続々と復学し、自主的に復旧に取り組んでいきました。 1947 (昭和22)年には学校教育法が設定され、本学の 新制大学への移行も決まります。専修大学は1949(昭和 24) 年、生田の地に新制大学に求められる基準を満たし た新キャンパスを開設し、新しい時代の教育に向け、大 きな一歩を進めました。

#### ■1979年、創立100年

#### 100年記念事業として 神田に高層キャンパス登場

1973 (昭和48) 年10月、地 上15階建て高さ61mの高層 校舎が神田の街に誕生しまし た。1979 (昭和54)年の創立



100年に向けた記念事業の中でも、ひときわ目を引く大 事業で、当時としては日本一の高層を誇ったキャンパスで した。今でこそ、高層タワー型の校舎は少なくありませ んが、その先駆けとなったのは専修大学でした。

#### 創立130年宣言

2007 (平成19)年、創立130年記念事業の 一環として生田10号館が施工され、2009(平 成21) 年9月16日に創立130年を迎えました。 当日は専修大学発祥の地から神田キャンパス



までのパレードと日高義博理 事長・学長(現・理事長)によ る「創立130年宣言」が行われ ました。



#### 専修大学年表



- 1880 ▶ 夜間2年制の専修学校設立、経済科・法律科を置く
- 1885 ▶ 現在の神田校地に移転
- 1887 ▶ 経済学および法律学の通信教育を開始
- 1888 ▶ 五大法律学校による連合討論会始まる
- 1889 ▶ 政治科を設置(明治24年2月廃止)
- 1903 ▶ 専門学校令による専修学校の設立認可
- 1906 ▶ 大学部・専門部・高等専攻部・高等予科を設置
- 1911 ▶ 創立30周年記念講堂完成



- 1913 ▶ 校名を私立専修大学と改称、初代学長に 相馬永胤就任
- 1919 ▶ 校名を専修大学と改称
- 1922 ▶ 大学令による「専修大学」(旧制)への昇格
- 1923 ▶ 経済学部設置
- 1926 ▶ 校歌、応援歌制定



- 1927 ▶ 法学部設置
- 1931 ▶ 五大学野球連盟、第1回リーグ戦で優勝
- 1933 ▶ 体育会発足
- 1939 ▶ 第20回箱根駅伝で初優勝
- 1949 ▶ 生田キャンパス授業開始 「学校教育法」による新制大学に移行、 商経学部・法学部を設置
- 1962 ▶ 経営学部を設置、文系学部として 初めてコンピュータ導入
- 1963 ▶ 松崎キミ代、世界卓球選手権で3冠達成 商経学部を経済学部と改称
- 1965 ▶ 商学部を設置
- 1966 ▶ 文学部を設置
- 1968 ▶ 専修大学美唄農工短期大学開学
- 1973 ▶ 専修大学美唄農工短期大学を専修大学北海道 短期大学と改称 神田に高層キャンパス完成
- 1979 ▶ 創立100年記念式典举行
- 1980 ▶ HEIB(ヒーブ)講座開始



- 1989 ▶ 石巻専修大学開学
- 1994 ▶ リレハンメル冬季オリンピックで堀井学、 本学現役学生では初の銅メダル
- 1999 ▶ 創立120年を祝う会開催
- 2001 ▶ ネットワーク情報学部設置
- 2003 ▶ 大学院社会知性開発研究センター設立 (平成18年に社会知性開発研究センターと改称)
- 2004 ▶ 大学院法務研究科(法科大学院)設置
- 2005 ▶ キャリアデザインセンター設置
- 2007 ▶ 生田10号館(130年記念館)竣工 黒田博樹、本学出身者として、初のメジャーリーガーに
- 2009 ▶ サテライトキャンパスが向ヶ丘遊園駅前にオープン
- 2010 ▶ 人間科学部心理学科、社会学科設置 文学部を日本語学科、日本文学文化学科、 英語英米文学科、哲学科、歴史学科、環境地理学科、 人文・ジャーナリズム学科の7学科体制に再編
- 2012 ▶ 法学部の全授業を神田キャンパスで開講

Ž 支

創

# 少林寺拳法関東学生OB会連合会は 関東学生OB・OGの組織で、会員相互の交流を図るとともに 学生拳士をサポートする様々な活動を展開しています。

#### 新入生勧誘活動のサポート

#### 新入生勧誘ポスター・チラシ



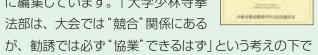
東京藝術大学OB・OGがボ A2判の大きなポスターに加 え、昨年度から、書き込みが 可能なチラシ用データを学 登場するモデルも、大会で 優秀な成績を収めた関東学 牛拳十が務めています。

新入生勧誘

マニュアル

#### 新入牛勧誘マニュアル

関東にとどまらず全国93大学から寄 せられた約540の勧誘ノウハウを約 180に整理・統合し、カテゴリー別 に編集しています。「大学少林寺拳 法部は、大会では"競合"関係にある



作成した勧誘ノウハウの集大成となっています。

## OB会設立のサポート

#### OB会マニュアル作成プロジェクト

新規にOB会を立上げたい、OB会の活動を活性化した ランティアでデザインを担当。 い、といった共通の諸課題について、各大学OB会のノ ウハウを共有することで解決出来ればと、2013年から プロジェクトとして検討を始め、多くの大学OB会から

情報を提供していただき、2015年 連加盟校に配布しています。 にOB会の骨子と言うべき「会則・ 規約」編をリリースしました。今後 は、「口座開設」、「名簿作成」、「会 費徴収 |、「情報発信 |、「イベント | 等、個別のテーマについて順次取 り組んでいきます。



#### 関東学生大会での表彰

#### 関東OB杯授与

関東学生大会で顕著な成績を挙げた大学に「関東OB 杯 | を授与しています。入賞数の多寡だけでなく、立合 評価法を含むその内容や著しい伸長度など、総合的な

判断で選考されるため、部員数の少ない大学や女子大 にも受賞の可能性があります。2016年は日本女子体 育大学が受賞しました。





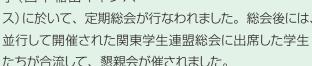


(駿河台キャンパス)で 開催されます。

部

#### 定期総会・懇親会

2016年6月に早稲田大 学(西早稲田キャンパ







年

懇親会でのOB・現役間のエール交換

#### OB・現役間の交流

#### OB現役懇親会

毎年11月に開催される、OB:現役が一堂に会する練 習会です。しばらく道衣から遠ざかっていたOBも現役 と一緒に実技で汗を流し、さらに練習後には懇親の場 を持ちます。各大学OB・現役の交流と関東学連委員の 紹介などもあります。2016年は11月27日に明治大学



#### 少林寺拳法関東学生OB会連合会とは

1982年に結成された少林寺拳法関東学生OB会連 合会は、関東学生連盟に所属する大学の少林寺拳 法部OB会(OG会)が会員で、ここに籍を置くOB・ OG一人一人がメンバーとなって、「心のふるさと 少林寺拳法 | を合言葉に、学校や年代の垣根を越 えて連携・交流し、また、学生拳士を支援しようと する組織です。現在、飯塚幸雄·上智大OB(1977) 年卒) が会長を務めています。今後とも"連合会" の活動にご参加ご協力をお願いします。

#### この広告は連合会加盟校有志(五十音順)により制作されました

青山学院大学 少林寺拳法部〇B会 慶應義塾大学 少林寺拳法三田会 国 土 舘 大 学 少林寺拳法部OB会

駒 澤 大 体育会少林寺拳法部拳誠会 少林寺拳法部OB会 昭 和 大 学 少林寺拳法部同士会

成 蹊 大 学 少林寺拳法部OB会 拓 殖 大 学 少林寺拳法部OB会 中 央 大 学 少林寺拳法部白門会

中央学院大学 少林寺拳法部OB会 東 海 大 学 少林寺拳法部OB会

少林寺拳法関東

[お問い合わせは連合会事務局まで]

東京工業大学 少林寺拳法部OBOG会 東京農業大学 納 会 0 B 会

日本体育大学 少林寺拳法部OB会 日 本 大 学 少林寺拳法部OB会 白 鷗 大 学 少林寺拳法部OB会拳鷗会

防衛大学校 少林寺拳法部OB会 治大学 少林寺拳法部明拳会

明治学院大学 少林寺拳法部白金会 立 教 大 学 少林寺拳法部OB会 早稲田大学 少林寺拳法部稲門会

E-Mail rengoukaijimu@yahoo.co.jp 行事開催にあたっては、各OB会にご案内を差し上げます。

**直修大学体音**会 少林寺拳法部OB緑拳会は、 連合会の主要メンバー校の一校です。

# 祝 専修大学体育会少林寺拳法部創部50周年



# 美住環境に奉仕する

造園・設計・外構工事・樹木造園管理

# 有限会社 サングリーン



# 代表取締役市川三夫

[3代・昭和46年卒]

所 在 地 千葉県千葉市花見川区検見川長1丁目12番地

プランニング事業部 千葉県千葉市花見川区花園町 2-5-10

TEL: 0 4 3 - 2 7 6 - 3 5 7 3 FAX: 0 4 3 - 2 7 6 - 5 7 0 0

# 祝

# 專修大学体育会少林寺拳法部 創部 50 周年

# 株式会社 サクマコーポレーション

# 代表取締役 佐久間 雄一郎

[3代・昭和46年卒]



〒111-0024 東京都台東区今戸2-39-4

TEL:03-3871-2011 FAX:03-3875-5710



# 専修大学体育会少林寺拳法部創部50周年

# 長谷川芳久

「3代・昭和46年卒〕

〒270-1436 千葉県白井市七次台3-10-3 TEL. 047(497)0339

# 祝 専修大学体育会少林寺拳法部創部50周年

# 牧田泰博税理士事務所

税理士牧田泰博

「3代・昭和46年卒〕

〒682-0025 鳥取県倉吉市八屋 214-3

TEL. 0858 (48) 1000 FAX. 0858(48)1100

# 専修大学体育会少林寺拳法部 創部50周年

# 神奈川支部 支部長

[4代・昭和47年卒]

〒243-0014 神奈川県厚木市旭町5-42-38 FAX/TEL. 046(228)4662



# 専修大学体育会少林寺拳法部 創部50周年

# 北陸支部 支部長

[4代・昭和47年卒]

〒930-0088 富山市諏訪川原1-10-27 TEL. 076 (441) 6874

## 祝 専修大学体育会少林寺拳法部創部50周年



# 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

樋□薫[14代・昭和57年卒]

# 祝 専修大学体育会少林寺拳法部創部50周年

土地・建物のトータルコーディネート

# 松村建物企業株式会社

(東京都知事 15 第 7279 号

取締役社長 河原井 敦

松村建物グループ

# ケンゼンビルディング株式会社

健全・建善・拳禅

代表取締役 河原井 敦

「専修大学体育会少林寺拳法部 監督 18代・昭和61年卒]

〒169-0073 東京都新宿区百人町 1-17-4
TEL. 03(3362)2261 FAX. 03(3362)9202

# 祝》専修大学体育会少林寺拳法部創部50周年

# 株式会社オフィス・嶋

代表取締役 高嶋 明 [平成5年法卒]

【事業内容】

【取り扱い保険会社】

総合保険代理店 金融商品仲介業 宅地建物取引業 三井住友海上・三井住友海上あいおい生命保険 メットライフ生命保険・オリックス生命保険

ジブラルタ生命保険・エヌエヌ生命保険 アクサ生命保険・日本生命保険

〒262-0033 千葉市花見川区幕張本郷1-11-9 コスモプラザビル5階 TEL: 043-441-5011 FAX: 043-441-5012

e-mail ▶ info@office-shima.com HP ▶ http://www.office-shima.com

# 祝 専修大学体育会少林寺拳法部創部50周年





安曇野から わさびのマルイ

# 株式会社マル井

取締役会長

# 井口俊廣

「昭和44年卒〕

本

社

〒 399-8205 長野県安曇野市豊科4932 TEL: 0 2 6 3 (7 2) 2 5 6 2 FAX: 0 2 6 3 (7 2) 1 5 6 9



営業本部 東京支店 主任

# 渡辺 久

[36代・平成16年卒]

#### 東京支社

〒 104-0041 東京都中央区新富1-7-11マルイビル TEL: 03(3206)7700 FAX: 03(3206)8800 祝 専修大学体育会少林寺拳法部創部50周年

# 祝

# M.Y. Foods

美味しさと健康を基本に考え、価値ある商品をあなたの街の食品スーパーにお届けします。



食の安全が叫ばれる昨今、エムワイフーズでは【美味しさと健康】を基本理念に掲げ、

同じ理想を持つ素晴らしい生産者・メーカーと食品スーパーの橋渡しをしています。

安心で安全な食品をお客様にご提供することは、食を扱う者としての責任だと強く認識しております。

また、地方の農家や工場(メーカー)から、優れた品質の食品を市場を通さずに直接スーパーにお届けすることにより、 美味しさはもちろんのこと、よりリーズナブルな商品展開を実現しております。

2020年、年商30億円に挑戦!

#### 株式会社エムワイフーズ

代表取締役社長 **星野 衛** 3代·昭和46年商学部卒。専修大学校友会 副会長(事業部担当)。 東修大学体育会少林寺拳法部OB緑拳会 会長。東修大学校友会流通研究OB会 会長。

〒131-0046 東京都墨田区京島1-25-4-104A TEL 03-6231-9810 FAX 03-6231-9850 ホームページ http://www.myfoods-tokyo.jp/



#### 【編集後記】

OB緑拳会の役員の間で50周年について話題となったのが、確か3年前。

時の経つのは早いもので、いつの間にやら2016年となり、急遽、この1月に記念式典の実行委員会を立ち上げることになりました。

それから毎月1回、そしてこの1カ月は毎週、専修大学神田校舎に集まり議論を重ね、ようやくこの日を無事迎えることができました。

実行委員会設立の際、記念誌についても議題に上がり夏前には制作に取り掛かったのですが、なかなか思うように進まず、8月後半から急ピッチで作業を進めた結果、なんとか本日、間に合わせることができました。

時間が無い中、ご寄稿いただいた皆さまには多大なご協力をいただき誠にありがとうございました。また、広告をご出稿いただいた皆さまには深く感謝いたします。さらに、この記念誌の制作にあたっては、日本大学少林寺拳法部OBの板倉さん(リトルフット代表)に大変御世話になりました。この場をお借りし御礼申し上げます。

誤字や脱字、また大会記録等は過去の資料を抜粋した関係で必ずしも正確ではないかもしれませんが、何分、至らぬところはお許しいただきますよう、お願い申し上げます。

今日から、あらたな歩みを始めた専修大学体育会少林寺拳法部に、今後 ともご高配を賜りますよう、何とぞよろしくお願い申し上げます。

2016年10月15日



#### 専修大学体育会少林寺拳法部 創部50周年記念式典実行委員会

実行委員長: 樋口 薫 (14代)

副実行委員長: 石川 良昭 (16代)/渡慶次 道瑠 (主将)

実 行 委 員: 水野 好夫 (初代)

星野 衛、市川三夫、中山 進(以上、3代)

尾島 茂 (4代) 鴇田 斎 (13代)

佐々木 一彦 (16代)

河原井敦、望月卓視(以上、18代)

川原 良和 (24代)

編集・デザイン: 有限会社リトルフット



# 化創部50周年

專修大学体育会少林寺拳法部

# 伝統の葬儀式から新しい葬送まで ひとり一人の想いをかたちに…

#### 葬 儀・・・「家族葬」から「社葬」「団体葬」まで

「儀」を込めて、「礼」をつくして・・・ 昭和2年の創業以来、80有余年の蓄積された豊富な経験で葬儀にかかわる 総てのお手伝いを致します。

#### 事前相談・・・「ソア友の会(扩共済会)」「ソア遺言バンク」

公営社ではご葬儀の事前相談をはじめ、充実の特典と各種割引を設けた会員制度をご用意しております。(会員のご入会は入会金のみで月々の会費は不要です)また、遺された家族に負担をかけないよう、ご自分の葬儀への「思い・願い・希望」を、生前に書き残し、遺言として実現するサービスもございます。

#### 散 骨・・・「海洋葬」

葬儀社初20数年の実績、海での葬送を基本として、節度を重んじた実行基準を 設けご依頼をお受けいたします。散骨は、お墓への納骨に替わるもので、自然の 中にお還しする葬送儀礼の一つです。

#### 生 花・・・ 想うこころを花に託して…

慶びと悲しみ、さまざまな人生の折節に 電話ひとつで、いつでも何処でもお届けいたします。(一部地域を除く)



お客様相談室 <sub>50。</sub>0120-556-847

〒169-0073 東京都新宿区百人町2丁目21番1号 電話03-3361-1067 FAX03-3360-6714

年中無休 24時間365日迅速対応

代表取締役 田近利夫(8代・昭和51年卒) 取 締 役 三上裕之(12代・昭和55年卒)